

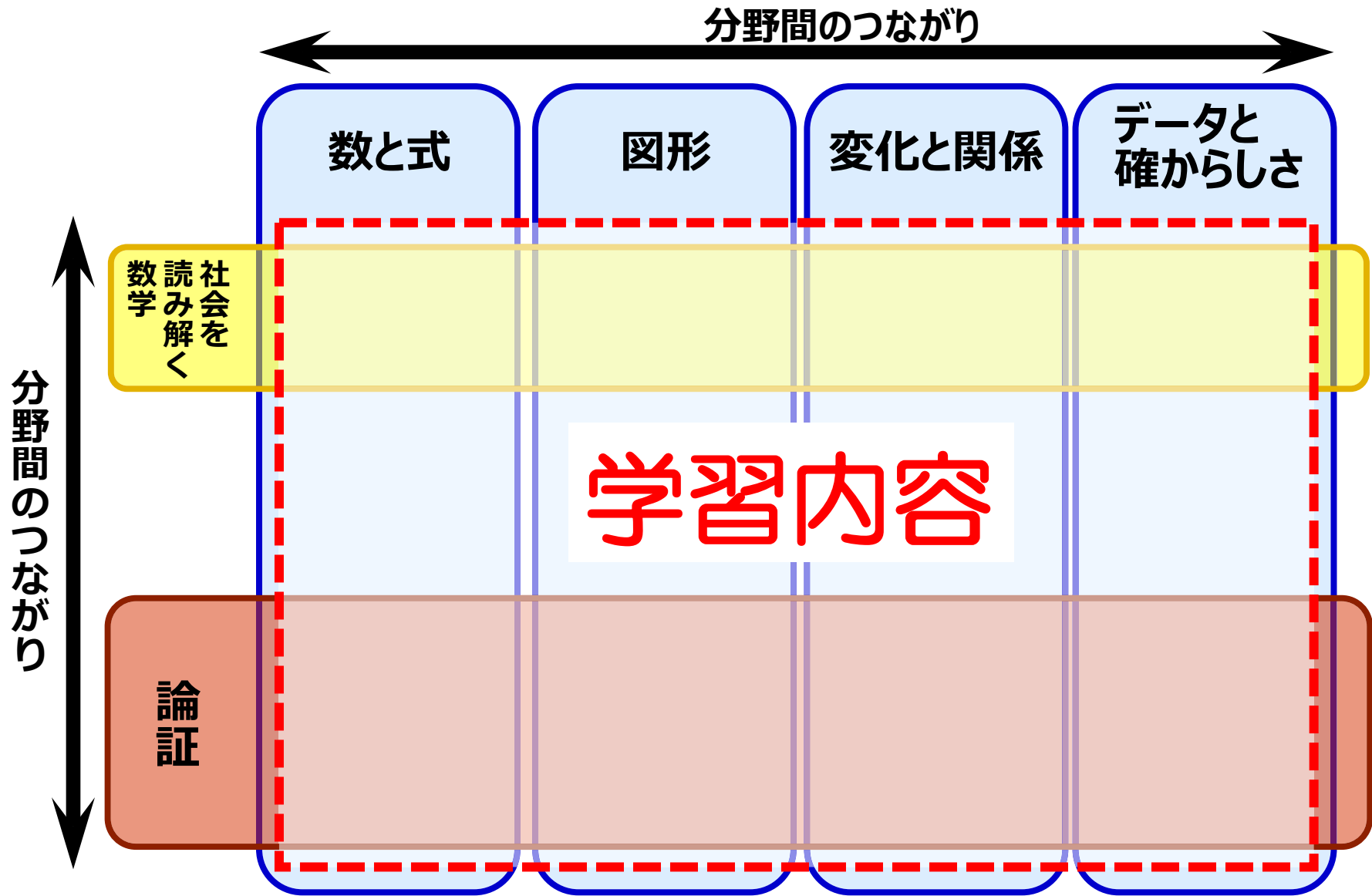
**算数・数学WGにおける議論の補足イメージ
及び教科の目標、見方・考え方、
資質・能力の全体構造（素案）**

算数・数学科の分野・区分のイメージ

分野	数と式				図形		変化と関係				データと確からしさ			論証	社会を読み解く数学
区分	数・量	式	計算	方程式・不等式	図形の性質	図形の計量	割合と比	関数			場合の数と確率	記述統計	推測統計	論証	社会を読み解く数学
小学校	○	○	○	↓	○	○	○ (第4~6学年)	○ (第4~6学年)			○	○	↓	↓	↓
中学校	○	○	○	○	○	○	↓	○			○	○	○	○	↓
高等学校 数学Ⅰ	↓	○	○	○	↓	○	↓	○			↓	○	○	○	○
高等学校 数学Ⅱ	↓	↓	計算	(分野)図形と方程式			↓	指数関数・ 対数関数	三角関数	微分法・ 積分法	↓	↓	↓	↓	↓
				図形と 方程式											
高等学校 数学Ⅲ	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	極限	微分法	積分法	↓	↓	↓	↓	↓
高等学校 新科目	行列				幾何 トベ ルク		↓	数列			場合の数 と確率	↓	推測統計	↓	↓
					平面 素数と複 素数と複 素数と複										

○：学習内容の規定あり ↓：学習内容として明記はされていないが、学習の萌芽や継続を表している
※区分については現行学習指導要領の学習内容をベースとしたものであり、今後の議論で見直しがありうる ※分野・区分を横断する学習内容も存在

算数・数学科の分野間の関係のイメージ

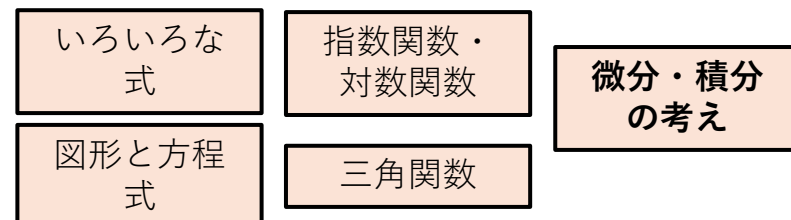


高等学校数学科の科目構成の見直しイメージ（たたき台）

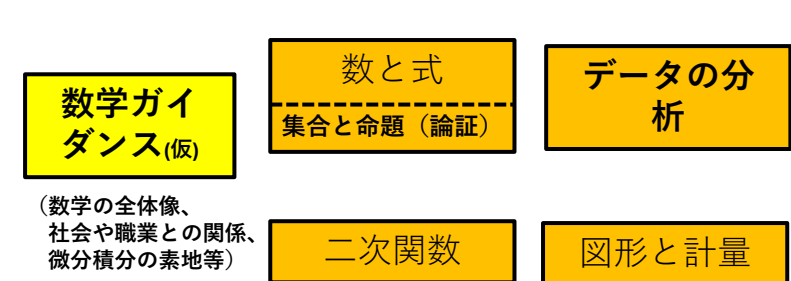
数学Ⅲ（選択履修）



数学Ⅱ（選択履修）



②数学Ⅰ（必修）の改善



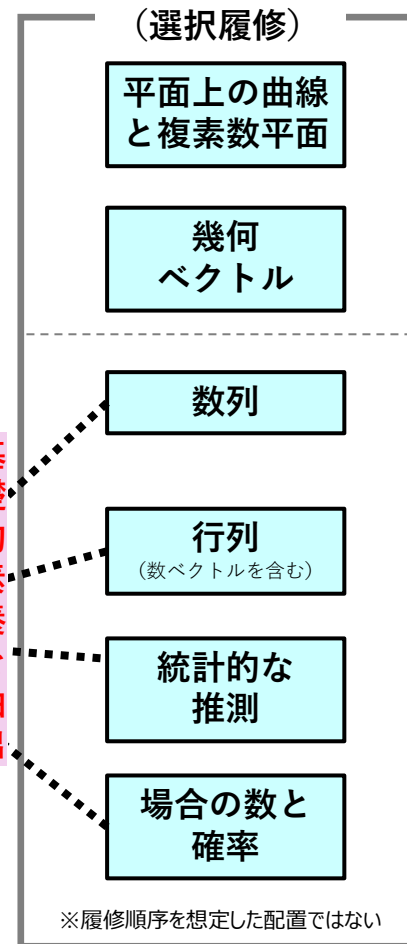
（数学の全体像、社会や職業との関係、微分積分の素地等）

※ 過度な負担を避ける観点も含め、国が分かりやすい動画を作成することも検討

社会を読み解く数学
（数理モデルを含む）

※ ①で該当する内容を選択履修する場合は相当分を減単可能としてはどうか
※ 数学Aの履修率が87%であることも踏まえつつ、過度な負担とならない範囲で学習内容の検討が必要

①ABCの区別をなくし、必要な学習内容の選択を容易化



基礎的素養を抽出

※履修順序を想定した配置ではない

▶ 学習内容の実質的増加につながらないよう、全体の学習内容について必要な精選を図る。

教科の目標、見方・考え方（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
小学校・中学校・高等学校	- 数学における基礎的・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 - 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	- 事象を数理的に捉え、解決の見通しをもって論理的、批判的に考察する力を養う。 - 数学の問題解決の過程や結果を振り返ったり、既習の事柄と関連付けたりするなどして統合的・発展的に考察する力を養う。 - 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表し、それを基に論理的に説明する力を養う。	- 事象に知的好奇心や目的意識をもって問題を見だし、数学を活用しようとする態度を養う。 - 他者と数学的論拠に基づいて協働し、問題解決を進めようとする態度を養う。 - 問題発見・解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。 - 数学の社会的有用性、美しさ、楽しさなどを感じる感性、想像力、直観力などの創造性の基礎を育む。

見方・考え方

- 事象や言説を数理の視点から捉え、論理的、統合的・発展的、批判的に考察すること

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
数学Ⅰ	- 多項式、論証、図形の計量、関数、データの活用についての基礎的・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 - 多項式を目的に応じて整理したり、方程式や不等式を解いたり、定理を用いて三角形の辺や角の大きさを求めたり、関数の表・式・グラフを相互に関連付けたり、基本的な統計量を求めたりする技能を身に付ける。	- 事象を式に表現したり図形として捉えたり関数関係に着目したりして論理的に考察する力、社会の事象などから問題を設定してデータを用いて分析し批判的に考察する力、日常生活や社会の事象における判断や意思決定に数学を活用する力を養う。 - 式を用いた問題解決や証明の過程及び図形を計量する方法や関数についての考察を振り返るなどして統合的・発展的に考察する力を養う。 - 集合や命題、式、グラフ、図などを用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表し、それを基に論理的に説明する力を養う。	- 事象に知的好奇心や目的意識をもって問題を見だし、数学を活用しようとする態度を養う。 - 他者と数学的論拠に基づいて協働し、問題解決を進めようとする態度を養う。 - 問題発見・解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。 - 数学の社会的有用性、美しさ、楽しさなどを感じる感性、想像力、直観力などの創造性の基礎を育む。

高

資質・能力の全体構造（素案）

数と式			
数・量		式	
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
- 数は、量の大きさや順序を表し、大小比較したり、計算したりできることを理解する。 - 数の範囲を拡張することは、それまでの数と同じ仕組みの表現や計算として扱い、より広範な事象を考察できることを理解する。 - 量は、ものの大きさを捉え、単位を基に測定して数に表したり、比べたりできることを理解する。	- 数を構成する単位や十進位取り記数法の仕組みに着目し、数の大きさの比べ方や数え方、表し方を考察し、大小比較や計算などに生かす。 - 量の特徴に着目し、目的に応じて適切な単位や計器を選んで測定し、量の大きさを数に表したり、比べたりする。	式は、数量の関係を簡潔・明瞭かつ一般的に表し、数量の関係について説明できることを理解する。	事象における数量の関係に着目し、式の表し方について考察し、計算して結果を得るとともに、得られた結果を意味づけたり活用したりする。
内容項目例		内容項目例	
- 数の構成と表し方 - 整数、小数、分数 - 概数、四捨五入 - 量と測定についての理解の基礎【再掲】 - 長さの単位と測定【再掲】 - かさの単位と測定 - 重さの単位と測定 - 時刻と時間	- 数を構成する単位や十進位取り記数法の仕組みに着目し、数の大きさの比べ方や数え方、表し方に関する問題として表現すること。 - 量の特徴に着目し、量の大きさを表したり、比べたりして、考察の対象とすること。	- 加法が用いられる式とその意味 - 減法が用いられる式とその意味 - 乗法が用いられる式とその意味 - 除法が用いられる式とその意味 - 四則を混合した式や（ ）を用いた式 - 公式 □、△ などを用いた式 - 文字式	- 数量の関係に着目し、式に表して、考察の対象とすること。 - 式の表し方について考察すること。 - 考察した式を事象に即して解釈し、類似の事象にも活用すること。
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
- 数は、量の大きさ、順序を表し、大小比較したり、計算したりできることを理解する。 - 数の範囲を拡張することは、それまでの数と同じ仕組みの表現や計算として扱えるようにし、より広範な事象を考察できることを理解する。	数の範囲に着目し、数の表し方や大きさの比べ方を考察し、大小比較や計算などに生かす。	文字や文字式は、数量や数量の関係を簡潔・明瞭かつ一般的に表し、数量や数量の関係について説明できることを理解する。	事象における数量や数量の数量の関係に着目し、文字式で表し、計算して結果を得るとともに、得られた結果を意味づけたり活用したりする。
内容項目例		内容項目例	
- 正負の数 - 平方根	- 数の範囲に着目し、数の表し方や大きさの比べ方に関する問題として表現すること。 - 数の表し方や大きさの比べ方を考察し、数の範囲を拡張すること。 - 拡張した数を具体的な事象に即して解釈し、類似の事象にも活用すること。 - 整数の性質について考察すること。	- 文字を用いることの必要性和意味 - 文字式	- 数量や数量の関係を文字式で表して考察の対象とすること。 - 文字式を目的に合った形に変形し、事象を論理的に考察すること。 - 数や数量に関して考察した結果を具体的な事象に即して解釈し、類似の事象にも活用すること。

小学校

中学校

資質・能力の全体構造（素案）

		数と式			
		数・量		式	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
高等学校	数学Ⅰ	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
				式は、数量の関係を簡潔・明瞭かつ一般的に表現し、推測した事柄が常に成り立つことを説明できることを理解する。	事象における数量の関係に着目し、式で表し、計算して結果を得るとともに、得られた結果を意味づけたり活用したりする。
		内容項目例		内容項目例	
				- 数量の関係を多項式で表したり、多項式の意味を読み取ったりすること - 等式や不等式の証明【再掲】	- 事象における数量の関係などを、多項式に表して考察の対象とすること。 - 多項式を目的に合った形に変形し、事象を論理的に考察すること。 - 考察した多項式を事象に即して解釈したり、推論の過程を振り返って新たな性質などを推測し、元の事象と関連付けて考察したりすること。

資質・能力の全体構造（素案）

		数と式			
		計算		方程式・不等式	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		計算は、数を構成する単位や十進位取り記数法、計算に関して成り立つ性質に基づいており、一定の手順にしたがって数量を正しく処理できることを理解する。	数を構成する単位や十進位取り記数法、計算に関して成り立つ性質に着目し、計算の仕方について考察し、問題の解決に生かす。		
		内容項目例		内容項目例	
		- 加法、減法、乗法、除法 - 四則に関して成り立つ性質 - そろばん	- 具体的な事象や既習の計算の仕方と関連付け、計算の仕方を考察すること。 - 考察した計算の仕方について、具体的な事象に即して解釈し、類似の事象にも活用すること。		
中学校		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		- 拡張した数の計算は、既習の四則計算や計算に関して成り立つ性質に基づいており、一定の手順にしたがって数量を正しく処理できることを理解する。 - 文字式の計算は、既習の四則計算や計算に関して成り立つ性質に基づいており、一定の手順にしたがって目的に応じた形に整理できることを理解する。	計算に関して成り立つ性質に着目し、拡張した数や文字式の計算の仕方について考察し、拡張した数や式の計算を問題の解決に生かす。	方程式は、等しい数量の関係を表し、条件を満たす値を正確に求められることを理解する。	事象における等しい数量の関係に着目し、方程式で表し、変形して結果を得るとともに、得られた結果を意味づけたり活用したりする。
		内容項目例		内容項目例	
		- 正の数と負の数の四則計算 - 一次式の加法、減法、乗法の計算 - 数の平方根を含む簡単な式の計算 - 単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法 - 式の展開と因数分解	- 具体的な事象や既習の計算の仕方と関連付けて、拡張した数や文字式の計算の仕方について考察すること。 - 拡張した数や文字式の計算の仕方について、具体的な事象に即して解釈し、類似の事象にも活用すること。	- 方程式の必要性和意味 - 方程式の中の文字や解の意味 - 一元一次方程式 - 二元一次方程式 - 連立二元一次方程式 - 二次方程式	- 数量の関係を方程式で表して考察の対象とすること。 - 等式の性質を基にして、方程式を解く方法について考察すること。 - 求めた解を事象に即して解釈したり、類似の事象にも活用して適用範囲を広げたりすること。
高等学校	数学Ⅰ	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		式の計算は、既習の四則計算や計算に関して成り立つ性質に基づいており、一定の手順にしたがって目的に応じた形に整理できることを理解する。	計算に関して成り立つ性質に着目し、式の計算の仕方について考察し、その計算を問題の解決に生かす。	不等式は、数量の大小関係についての条件を表し、その条件を満たす値の範囲を求められることを理解する。	事象における数量の大小関係に着目し、不等式で表し、変形して結果を得るとともに、得られた結果を意味づけたり活用したりする。
		内容項目例		内容項目例	
		多項式の展開と因数分解	既習の計算の仕方と関連付けて、多項式の計算の仕方を考察すること。	- 不等式の解の意味や不等式の性質 - 一次不等式の解を求めること	- 数量の大小関係を一次不等式で表して考察の対象とすること。 - 不等式の性質を基にして、一次不等式を解く方法について考察すること。 - 求めた解を事象に即して解釈したり、類似の事象にも活用して適用範囲を広げた、すること。

資質・能力の全体構造（素案）

小学校	図形			
	図形の性質		図形の計量	
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	図形の性質は、図形を構成する要素や位置関係、図形間の関係に成り立つ関係や特徴であり、図形を分類したり、構成したりできることを理解する。	図形を構成する要素、位置関係、図形間の関係に着目し、図形の構成の仕方や性質を考察し、それらを他の図形に広げたり、図形の計量に生かしたりする。	図形の計量は、図形を角度、面積、体積などの数値として捉えることであり、平面や空間における様々な問題を数量的に扱えることを理解する。	- 事象における形・大きさ・位置関係などに着目し、公式を用いて処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。 - 事象を考察した過程や結果を基に一般化し、公式を導く。
中学校	内容項目例		内容項目例	
	- 図形についての理解の基礎 - 三角形や四角形などの図形 - 二等辺三角形、正三角形などの図形 - 平行四辺形、ひし形、台形などの平面図形 - 平面図形の性質 - 立体図形の性質 - 縮図や拡大図、対称な図形	- ものの形や図形の構成要素、位置関係、図形間の関係に着目し、図形の性質に関する問題として表現すること。 - 図形の性質について考察したり、考察した性質をもとに、図形を分類したり構成したりすること。 - 考察した性質を、他の図形にも広げ、新たな性質について考察すること。	- 量と測定についての理解の基礎【再掲】 - 長さの単位と測定【再掲】 - 平面図形の面積 - 角の大きさ - 平面図形の面積 - 立体図形の体積	- 日常生活や社会の事象などを、形・大きさ・位置関係などに着目して捉え、図形の計量に関する問題として表現すること。 - 既習の図形の面積や体積の求め方と関連付け、図形の面積や体積の求め方を考察すること。また、角度の求め方を考察すること。 - 考察した面積や体積の求め方と、計量の過程や結果を振り返って一般化して、図形の計量に関する公式を導くこと。
	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	図形の性質は、図形を構成する要素や位置関係、図形間に成り立つ関係や特徴であり、図形を分類したり、構成したりできることを理解する。	図形を構成する要素、位置関係、図形間の関係に着目し、図形の構成の仕方や性質を考察し、それらを他の図形に広げたり、図形の計量に生かしたりする。	図形の計量は、図形を長さや角度、面積、体積などの数値として捉えることであり、直接測れない長さや角度を求めたり、平面や空間における様々な問題を数量的に扱ったりできることを理解する。	- 事象における形・大きさ・位置関係などに着目し、定理や公式を用いて処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。 - 事象を考察した過程や結果を基に一般化し、定理や公式を導く。
中学校	内容項目例		内容項目例	
	- 作図 - 平行移動、対称移動及び回転移動 - 空間における直線や平面の位置関係 - 直線や平面図形の運動と空間図形 - 空間図形と平面上の表現 - 平行線や角の性質の意味 - 多角形の角 - 円周角と中心角	- 事象から図形の性質や関係を推測し、図形の性質や関係に関する問題として表現すること。 - 図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察すること - 図形の移動に着目し、二つの図形の関係について考察すること - 考察した図形の性質を具体的な事象に即して解釈し、類似の事象にも活用すること。	- 扇形の弧の長さや面積、柱体や錐体、球の表面積と体積 - 相似な図形の相似比と面積比や体積比 - 三平方の定理	- 日常生活や社会の事象などを、形・大きさ・位置関係などに着目して捉え、図形の計量に関する問題として表現すること。 - 図形の構成要素の関係に着目し、図形の長さや角度、面積の求め方を考察すること。 - 計量の過程や結果を振り返って一般化して、図形の計量に関する定理や公式を導くこと。 - 導いた定理や公式を事象の考察に活用すること。

資質・能力の全体構造（素案）

		図形			
		図形の性質		図形の計量	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
高等学校	数学 I			図形の計量は、図形を長さや角度、面積、体積などの数値として捉えることであり、直接測れない長さや角度を効率的に求めたり、平面や空間における様々な問題を数量的に扱ったりできることを理解する。	- 事象における形・大きさ・位置関係などに着目し、定理や公式を用いて処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。 - 事象を考察した過程や結果を基に拡張・一般化し、定理や公式を導く。
		内容項目例		内容項目例	
				- 鋭角の三角比 - 三角比の鈍角まで拡張 - 鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法 - 正弦定理、余弦定理、正弦を用いた面積公式を用いて三角形の辺や角の大きさ、面積を求めること	- 日常生活や社会の事象などを、形・大きさ・位置関係などに着目して捉え、図形の計量に関する問題として表現すること。 - 図形の構成要素の関係に着目し、図形の長さや角度、面積の求め方を考察すること。 - 計量の過程や結果を振り返って拡張・一般化し、図形の計量に関する定理や公式を導くこと。 - 導いた定理や公式を事象の考察に活用すること。

資質・能力の全体構造（素案）

	変化と関係			
	割合と比		関数	
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
小学校	単位量あたりの大きさや割合、比は、二つの数量の関係を表し、二つの数量の関係を基に比べ、判断できることを理解する。	日常生活や社会の事象などについて、二つの数量の関係に着目し、比べ方を考察し、判断に生かす。	伴って変わる二つの数量は、数量の変化と対応の関係によって特徴づけられ、事象の変化を把握したり予測したりして、判断できることを理解する。	日常生活や社会の事象などについて、伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表、式、グラフを活用して処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。
	内容項目例		内容項目例	
	- 簡単な場合についての割合 - 異種の二つの量の割合 - 割合 - 比	- 事象における二つの数量の関係に着目し、ある二つの数量の関係を別の二つの数量の関係を比べる問題として表現すること。 - ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を、図や式などを用いて考察すること。 - 考察したある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を、様々な事象にも活用して適用範囲を広げること。	- 伴って変わる二つの数量変化 - 表や式、グラフ - 簡単な場合の比例、反比例	- 事象における伴って変わる二つの数量を見だし、それらの関係に着目し、伴って変わる二つの数量を用いた問題として表現すること。 - 伴って変わる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、数量の変化や対応の様子などを考察すること。 - 具体的な事象に即して変化や対応の特徴を考え、説明するとともに、類似の事象にも活用して適用範囲を広げること。
中学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
			関数は、一方の値を決めると他方の値がただ一つに決まる対応として数量間の関係を扱い、事象の変化を把握したり予測したりして判断できることを理解する。	日常生活や社会の事象などについて、伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表、式、グラフを活用して処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。
	内容項目例		内容項目例	
			- 関数、座標の意味、表、式、グラフ - 比例、反比例 - 一次関数、二元一次方程式を関数を示す式とみる - 関数 $y=ax^2$	- 事象における伴って変わる二つの数量を見だし、それらの関係を関数と仮定すること。 - 伴って変わる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べたり、相互に関連付けて捉えたりすることによって、数量の変化や対応の様子などを考察すること。 - 数学的な結果を具体的な事象に即して解釈し、結果の妥当性を判断したり、類似の事象にも活用して適用範囲を広げたりすること。

資質・能力の全体構造（素案）

変化と関係			
割合と比		関数	
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		- 関数は、一方の値を決めると他方の値がただ一つに決まる対応関係として数量間の関係を扱い、事象の変化を把握したり予測したりして判断できることを理解する。 - 関数のグラフは、方程式や不等式の解を、軸や他のグラフとの位置関係として視覚的に捉えられることを理解する。	日常生活や社会の事象などについて、伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表、式、グラフを活用して処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。
内容項目例		内容項目例	
		- 二次関数の値の変化やグラフの特徴 - 二次関数の最大値や最小値 - 二次関数と二次方程式及び二次不等式の解	- 事象における伴って変わる二つの数量を見だし、それらの関係を二次関数と仮定すること。 - 二次関数の式とグラフの関係について、表と関連付けたりするなどして考察すること。 - 二次方程式や二次不等式の解について、二次関数のグラフと関連付けて考察すること。 - 数学的な結果を具体的な事象に即して解釈し、結果の妥当性を判断したり、類似の事象にも活用して適用範囲を広げたりすること。

資質・能力の全体構造（素案）

データと確からしさ					
場合の数と確率		記述統計		推測統計	
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
場合の数は、漏れや重複がないように効率よく数え上げた起 こり得る場合の総数を表し、 複雑な事象を構造的に整理 できることを理解する。	事象の特徴に着目し、順序よく 整理する観点を決めて、漏れや 重複なく調べる方法を考察し、起 こり得る場合を整理する。	データは、身の回りの事象を 数量的に捉え、目的に応じて 表やグラフなどを用いて表 すことにより、データに依拠し た根拠に基づいて判断したり、 主張したりできることを理 解する。	事象におけるデータの特徴や傾向に着 目し、目的に応じてデータを収集したり 適切な手法を選択したりして分析し、 データに基づいた判断や主張をする。		
内容項目例		内容項目例		内容項目例	
• 場合の数	• 事象の特徴に着目し、起こり得る場合を調べることを、数学的に考察する対象とすること。 • 順序よく整理するための観点を決めて、漏れや重複なく調べるための方法を考察し、起こり得る場合を整理すること。 • 考察した漏れや重複なく調べるための方法を、条件を変えて発展的に考えたり、類似の事象にも活用して適用範囲を広げたりすること。	• 絵や図を用いた数量の表現 • 簡単な表やグラフ • 表と棒グラフ • データの分類整理 • 円グラフや棒グラフ • 測定値の平均 • データの考察	• 目的に応じて統計的に解決可能な問題を設定すること。 • 問題を解決するために必要なデータを収集する計画を立てること。 • データを収集、整理し、目的に応じてデータの特徴や傾向について考察すること。 • データの特徴や傾向に基づく判断や主張について説明し、その妥当性について考察すること。 • 概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法を考え、それを学習や日常生活に生かすこと。		
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
確率は、ある事象の起こりやすさを数値で表し、不確定な事象を予測したり、判断したりできることを理解する。	事象の起こりやすさに着目し、数値で表して把握することにより、未知の状況について予測したり判断したりする。	データの分布は、値の集まり方や散らばり具合の様子を表し、データに依拠した根拠に基づいて判断したり、主張したりできることを理解する。	事象におけるデータの分布に着目し、目的に応じてデータを収集したり適切な手法を選択したりして分析し、データに基づいた判断や主張をする。	標本調査は、無作為に抽出した標本から母集団の傾向を調べ、一部のデータに基づいて全体の傾向を推測できることを理解する。	事象における母集団と標本の関係に着目し、母集団の傾向を推測して判断したり、調査の方法や結果の妥当性について考察したりする。
内容項目例		内容項目例		内容項目例	
• 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率 • 場合の数を基にして得られる確率 • 簡単な場合の確率	• 事象に0以上1以下の数に対応させ、数学的に考察する対象とすること。 • 確率の求め方について考察すること。 • 確率を用いて不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、その結果の妥当性を判断すること。	• ヒストグラム、相対度数 • 四分位範囲、箱ひげ図	• 目的に応じて統計的に解決可能な問題を設定すること。 • 問題を解決するために必要なデータを収集する計画を立てること。 • データを収集、整理し、目的に応じてデータの特徴や傾向について考察すること。 • データの特徴や傾向に基づく判断や主張について説明し、その妥当性について考察すること。	• 標本調査	• 目的に応じて、標本調査によって解決可能な問題を設定すること。 • 母集団から標本を抽出して整理し、標本の特徴や傾向について考察すること。 • 標本の特徴や傾向に基づく判断や主張をすること。 • 標本調査の方法や結果を考察すること。

資質・能力の全体構造 (素案)

データと確からしさ					
場合の数と確率		記述統計		推測統計	
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		- データの分布は、値の集まり方や散らばり具合の様子を表し、データに依拠した根拠に基づいて判断したり、主張したりできることを理解する。 - データの相関は、二つの変量の間の直線的な関係の向きや強さを表し、二つの変量の間の関係性について判断できることを理解する。	事象におけるデータの分布や二つの変量の関係などに着目し、目的に応じて複数の種類のデータを収集したり適切な手法を選択したりして分析して、データに基づいた判断や主張をする。	仮説検定は、ある仮定のもとで、観測された値及びそれ以上に極端な値が得られる確率を求めることにより、データとその仮定の矛盾の程度を評価できることを理解する。	事象における不確実性に着目し、データと仮定の矛盾の程度を評価するとともに、調査の前提や評価の限界を踏まえて主張の妥当性を考察する。
内容項目例		内容項目例		内容項目例	
		- 分散、標準偏差 - 散布図、相関係数 - デジタルツールの利活用	- 目的に応じて統計的に解決可能な問題を設定すること。 - 問題を解決するために必要なデータを収集する計画を立てること。 - データを収集、整理し、データの散らばり具合や傾向を数値化する方法について考察すること。 - データの散らばり具合や傾向に基づく判断や主張について説明し、その妥当性について考察すること。	仮説検定の考え方	- 目的に応じて、不確実性に着目し、主張に関する仮定を設定すること。 - 仮定に基づいて求めた確率を、あらかじめ定めた基準に照らして解釈し、データと仮定の矛盾の程度を評価すること。 - 主張の妥当性について考察すること。

資質・能力の全体構造（素案）

		論証	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校		統合的な理解	総合的な発揮
		内容項目例	
中学校		統合的な理解	総合的な発揮
		証明は、既に正しいと認められた事柄を基にして、論理的に結論を導くことであり、性質が常に成り立つことを説明できることを理解する。	事象から性質などを推測したり、推測された性質などを証明したりするとともに、その仮定や結論を振り返って新たな性質を推測し、元の事象と関連付けて考察する。
		内容項目例	
高等学校	数学Ⅰ	統合的な理解	総合的な発揮
		- 証明及びその方法の必要性と意味 - 文字式を用いて説明することの必要性と意味 - 平面図形の合同及び三角形の合同条件の意味 - 平面図形の相似及び三角形の相似条件の意味	- 事象から数や図形の性質、関係を推測し、数や図形の性質、関係に関する問題として表現すること。 - 性質や定理を活用して論理的に考察すること。（※反証も含む） - 推論の過程を振り返って、新たな性質などを推測し、元の事象と関連付けて考察すること。
		内容項目例	
高等学校	数学Ⅰ	統合的な理解	総合的な発揮
		- 集合は、ある条件を満たす対象を一つのまとまりとして扱い、集合間の関係を論理的に考察できることを理解する。 - 命題は、証明する対象を真偽の定まる文や式として表し、仮定と結論の関係を明示的に取り扱えることを理解する。 - 証明は、対象とする集合を明確にして、既に正しいと認められた事柄を基にして論理的に結論を導くことであり、その集合において命題が真であることを説明できることを理解する。	事象から性質などを推測し、命題として表し、その真偽について証明するとともに、その過程や結論を振り返って新たな性質などを推測し、元の事象と関連付けて考察する。
		内容項目例	
高等学校	数学Ⅰ	統合的な理解	総合的な発揮
		- 集合 - 命題と証明 - 等式や不等式の証明【再掲】	- 事象から性質などを推測し、命題として表現すること。 - 集合に基づいたり同値性に基づいたりして命題の真偽について証明すること。 - 証明の過程に着目し、新たな性質などを推測し、元の事象と関連付けて考察すること。
		内容項目例	

資質・能力の全体構造（素案）

		社会を読み解く数学	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校		統合的な理解	総合的な発揮
		内容項目例	
中学校		統合的な理解	総合的な発揮
		内容項目例	
高等学校	数学Ⅰ	統合的な理解	総合的な発揮
		数理モデルは、日常生活や社会の事象を条件や仮定に基づいて数式などで表し、そのモデルを用いることにより、事象の仕組みを説明したり結果を予測したり、よりよい判断や意思決定を検討したりできることを理解する。	日常生活や社会の事象における数学的な構造に着目し、数学の問題として表して解決するとともに、得られた結果を意味づけたり活用したりする。
		内容項目例	
		- 日常生活や社会の事象などを数学化し、数学的に問題を解決する方法 - 金融と等比数列、漸化式 - データを表現する数ベクトルとその内積 - 期待値	- 日常生活や社会の事象を、数・量やそれらの関係などに着目して捉え、想化したり単純化したりして問題を数学的に表現すること。 - 問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察すること。

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
数学Ⅱ	式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分についての基礎的・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 - 式を目的に応じて整理したり、指数関数・対数関数及び三角関数の表・式・グラフを相互に関連付けたり、導関数や不定積分及び定積分の値を求めたりする技能を身に付ける。	- 図形を方程式に表現して図形の性質などについて論理的、批判的に考察する力、関数関係や関数の局所的な変化に着目したりして事象を論理的、批判的に考察する力を養う。 - 方程式を用いた図形の性質に関する考察やいろいろな関数を用いた問題解決の過程を振り返るなどして統合的・発展的に考察する力を養う。 - 方程式やいろいろな関数の式・グラフなどを用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表し、それを基に論理的に説明する力を養う。	- 事象に知的好奇心や目的意識をもって問題を見だし、数学を活用しようとする態度を養う。 - 他者と数学的論拠に基づいて協働し、問題解決を進めようとする態度を養う。 - 問題発見・解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。 - 数学の社会的有用性、美しさ、楽しさなどを感じる感性、想像力、直観力などの創造性の基礎を育む。

資質・能力の全体構造（素案）

数と式		図形と方程式	
式		図形と方程式	
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
式の計算は、既習の四則計算や計算に関して成り立つ性質に基づいており、一定の手順にしたがって目的に応じた形に整理できることを理解する。	計算に関して成り立つ性質に着目し、式の計算の仕方について考察し、その計算を問題の解決に生かす。	図形を座標と方程式によって表すことは、図形と式とを対応させて扱い、式の計算によって図形の位置関係や性質を調べられることを理解する。	- 事象における図形と式の関係に着目し、式を用いて処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。 - 図形の位置関係や性質について、式を用いて証明する。
内容項目例		内容項目例	
- 三次の乗法公式及び因数分解の公式 - 多項式の除法 - 分数式の四則計算 - 因数定理と簡単な高次方程式 - 複素数の範囲での因数定理や高次方程式 - 解と係数の関係	- 既習の計算の仕方と関連付けて、式の計算の仕方を考察すること。 - 式の計算について、具体的な事象に即して解釈し、類似の事象にも活用すること。	- 座標平面上の線分を内分点、外分点、二点間の距離 - 座標平面上の直線や円の方程式 - 簡単な場合の軌跡 - 簡単な場合の領域	- 日常生活や社会の事象などを、形・大きさ・位置関係などに着目して捉え、座標と方程式によって表現すること。 - 図形の性質について、座標と方程式を用いて考察すること。 - 方程式を用いて処理した結果を、図形や具体的な事象に照らして意味づけること。

資質・能力の全体構造（素案）

変化と関係					
指数関数・対数関数		三角関数		微分法・積分法	
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
- 指数関数は、一定の倍率で変化する関係を表し、急激に増減する事象の変化について予測したり、判断したりできることを理解する。 - 対数関数は、ある数とそれに対応する底の指数の関係を表し、積や累乗の計算、急激な増減などを扱いやすくて理解する。	事象における一定の倍率で増減する量や桁の大きさの違いに着目し、表、式、グラフを活用して処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。	三角関数は、角度とそれに対応する数値の関係を表し、周期的な事象の変化について予測したり、判断したりできることを理解する。	事象における周期性に着目し、表、式、グラフを活用して処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。	- 微分は、関数の各値における局所的な変化率を表す関数を求めることであり、それは関数の変化の様子を明らかにできることを理解する。 - 積分は、微分して与えられた関数になるような関数を求めることであり、関数のグラフが形作る面積を求められることを理解する。	事象における局所的な変化に着目し、関数を用いて問題を解決し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。
内容項目例		内容項目例		内容項目例	
- 指数 - 指数法則 - 指数関数 - 対数 - 対数の計算 - 対数関数	- 事象における伴って変わる二つの数量を見だし、それらの関係を指数関数や対数関数と仮定すること。 - 指数の拡張について考察すること。 - 指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、指数と対数を相互に関連付けするなどして考察すること。 - 数学的な結果を具体的な事象に即して解釈し、結果の妥当性を判断したり、類似の事象にも活用して適用範囲を広げたりすること。	- 弧度法 - 三角関数 - 三角関数の相互関係の基本的な性質	- 事象における伴って変わる二つの数量を見だし、それらの関係を三角関数と仮定すること。 - 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察すること。 - 数学的な結果を具体的な事象に即して解釈し、結果の妥当性を判断したり、類似の事象にも活用して適用範囲を広げたりすること。 - 三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、三角関数の加法定理から新たな性質を導くこと。	- 微分係数や導関数 - 関数の導関数 - 関数の値の増減や極大・極小、グラフの概形 - 不定積分及び定積分	- 事象における伴って変わる二つの数量を見だし、それらの関係を多項式関数と仮定すること。 - 関数とその導関数との関係について考察すること。 - 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。 - 数学的な結果を具体的な事象に即して解釈し、結果の妥当性を判断したり、類似の事象にも活用して適用範囲を広げたりすること。

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
数学Ⅲ	- 極限、微分法、積分法についての基礎的・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 - 簡単な数列の極限を求めたり、導関数を用いて関数の値の増減やグラフの凹凸を調べたり、定積分を用いていろいろな曲線で囲まれた図形の面積や立体の体積などを求めたりする技能を身に付ける。	- 関数の局所的な変化や大局的な変化及び微分と積分の関係に着目するなどして関数関係をより深く捉え、事象を論理的、批判的に考察する力を養う。 - 極限やいろいろな関数の局所的・大局的な性質などを用いた問題解決の過程を振り返ったり、既習の事柄と関連付けたりするなどして、統合的・発展的に考察する力を養う。 - いろいろな関数の式・グラフや一般的な関数の表記などを用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表し、それを基に論理的に説明する力を養う。	- 事象に知的好奇心や目的意識をもって問題を見だし、数学を活用しようとする態度を養う。 - 他者と数学的論拠に基づいて協働し、問題解決を進めようとする態度を養う。 - 問題発見・解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。 - 数学の社会的有用性、美しさ、楽しさなどを感じる感性、想像力、直観力などの創造性の基礎を育む。

資質・能力の全体構造（素案）

変化と関係					
極限		微分法		積分法	
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
極限は、数列や関数の値がある値に限りなく近づいていく状態であり、連続的な変化や無限に続く過程を捉えることを理解する。	数列や関数の値の極限に着目し、問題を解決し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。	微分法は、いろいろな関数を局所的に一次関数で近似して捉える方法であり、複雑な変化の様子を明らかにできることを理解する。	関数の局所的な変化に着目し、問題を解決し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。	積分法は、連続的に変化する量を微小な変化量の和の極限として扱い、その値を微分との関係に基づいて計算する方法であり、面積・体積や変化する量の総和などを求められることを理解する。	微分と積分との関係に着目し、問題を解決し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。
内容項目例		内容項目例		内容項目例	
- 数列の極限 - 無限級数の収束、発散、及び無限級数の和 - 簡単な分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴 - 合成関数や逆関数の意味、及び簡単な場合についてそれらを求めること - 関数の値の極限	- 式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求める方法を考察すること。 - 既に学習した関数の性質と関連付けて、簡単な分数関数と無理関数のグラフの特徴を多面的に考察すること。 - 事象を、数列や関数の値の極限に着目して捉えること。 - 数列や関数の値の極限を、事象に照らして意味づけること。	- 微分可能性、関数の積及び商の導関数 - 関数の和、差、積及び商の導関数 - 合成関数の導関数 - 三角関数、指数関数及び対数関数の導関数 - 導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかくたりすること	- 事象における伴って変わる二つの数量を見だし、それらの関係を、既習の関数と関連付けて数学的に考察する対象とすること。 - 導関数の定義に基づき、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を考察すること。 - 関数の連続性と微分可能性、関数とその導関数や第二次導関数の関係について考察すること。 - 数学的な結果を具体的な事象に即して解釈し、結果の妥当性を判断したり、類似の事象にも活用して適用範囲を広げたりすること。	- 不定積分及び定積分 - 置換積分法及び部分積分法 - いろいろな曲線で囲まれた図形の面積や立体の体積及び曲線の長さ	- 事象における伴って変わる二つの数量を見だし、それらの関係を、既習の関数と関連付けて数学的に考察する対象とすること。 - 関数の式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりして、いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察すること。 - 極限や定積分の考えを基に、立体の体積や曲線の長さなどを求める方法について考察すること。 - 数学的な結果を具体的な事象に即して解釈し、結果の妥当性を判断したり、類似の事象にも活用して適用範囲を広げたりすること。

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
新科目	- 数学におけるいろいろな概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学を活用した問題解決や数学的な表現の工夫について認識を広げ、深める。 - 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	- 事象を数理的に捉え、見通しをもって論理的、批判的に考察したり、判断・意思決定したりする力を養う。 - 数学の問題解決の過程や結果を振り返ったり、既習の事柄と関連付けたりするなどして統合的・発展的に考察する力を養う。 - 数学的な表現を工夫したり複数の表現を相互に関連付けたりするなどして事象を簡潔・明瞭・的確に表し、それらを用いて論理的に説明する力を養う。	- 事象に知的好奇心や目的意識をもって問題を見だし、数学を活用しようとする態度を養う。 - 他者と数学的論拠に基づいて協働し、問題解決を進めようとする態度を養う。 - 問題発見・解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。 - 数学の社会的有用性、美しさ、楽しさなどを感じる感性、想像力、直観力などの創造性の基礎を育む。

資質・能力の全体構造（素案）

データと確からしさ		数と式	
場合の数と確率		推測統計	
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
- 場合の数は、漏れや重複がないように効率よく数え上げた起こり得る場合の総数を表し、複雑な事象を構造的に整理できることを理解する。 - 確率は、ある事象の起こりやすさを数値で表し、不確定な事象について予測したり、判断したりできることを理解する。	事象の構造や起こりやすさに着目し、起こり得る場合の数を整理して数え上げ、その起こりやすさを数値で表して把握することにより、未知の状況について予測したり判断したりする。	統計的な推測は、標本から母集団について推測するときの不確かさを確率で捉え、母集団の傾向について考察できることを理解する。	事象における母集団と標本の関係に着目し、調査の前提や方法の限界を踏まえて、母集団の傾向を推測したり、調査結果の妥当性について考察したりする。
内容項目例		内容項目例	
- 集合の要素の個数に関する基本的な関係 - 和の法則、積の法則などの数え上げの原則 - 順列及び組合せ - 二項定理(←数学Ⅱから移行) - 確率の意味や基本的な法則 - 期待値 - 独立な試行の確率 - 条件付き確率	- 事象の構造に着目し、起こり得る場合を調べること、数学的に考察する対象とすること。 - 場合の数をもれなく、重複なく、効率よく求める方法について考察すること。 - 考察した方法を類似の事象にも活用して適用範囲を広げること。 - 確率の性質や法則を基に、確率を求める方法を考察すること。 - 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすること。	- 標本調査 - 確率変数と確率分布 - 二項分布と正規分布 - 正規分布を用いた区間推定及び仮説検定	- 目的に応じて、標本調査によって解決可能な問題を設定すること。 - 確率分布や標本分布の特徴について、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察すること。 - 母平均や母比率について推定したり、検定したりすること。 - 標本調査の方法や結果を考察すること。
内容項目例		内容項目例	
		- 行列を用いた事象の表現 - 行列の和、差、実数倍、積 - デジタルツールを用いた行列の計算 - データ間の線形写像 - 連立方程式と行列 - 離散グラフと行列	- 日常生活や社会の事象などを行列を用いて表現すること。 - 行列を事象に照らして解釈すること。 - 行列を用いてデータを変換すること。 - 行列を用いて連立一次方程式を解くこと。

資質・能力の全体構造（素案）

変化と関係		図形			
数列		幾何ベクトル		平面上の曲線と複素数平面	
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
- 数列は、自然数を定義域とする関数や項どうしの関係により定まる数の並びを表し、局所的な変化から大域的な変化を捉えられることを理解する。 - 数学的帰納法は、自然数に関する命題について、全ての自然数について成り立つと結論づける証明方法であることを理解する。	- 事象における離散的な変化や再帰関係に着目し、式を用いて処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。 - 事象から性質などを推測し、命題として表し、その真偽について証明するとともに、その過程や結論を振り返って新たな性質などを推測し、元の事象と関連付けて考察する。	幾何ベクトルは、方向と大きさを持つ量を図的に表し、平面や空間における図形の位置や方向、長さや角度の関係を統一的に扱えることを理解する。	- 事象における方向と大きさに着目し、式を用いて表現するとともに処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。 - 図形の性質や位置関係について、式を用いて証明する。	- 媒介変数表示や極座標は、平面上の点の位置や曲線の表し方の一つであり、直交座標表示では扱いにくい曲線を描いたり、その性質を調べたりできることを理解する。 - 複素数平面は、複素数を平面上の点に対応させる表し方であり、平面上の回転を計算で処理できることを理解する。	図形の表し方に着目し、式を用いて表現するとともに処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。
内容項目例		内容項目例		内容項目例	
- 等差数列と等比数列の一般項と和 - いろいろな数列の一般項や和を求める方法 - 漸化式 - 数学的帰納法	- 事象における離散的な変化や再帰関係に着目して、数学的に考察する対象とすること。 - 離散的な変化の規則性を数学的に表現し考察すること。 - 数学的な結果を具体的な事象に即して解釈し、類似の事象にも活用して適用範囲を広げること。 - 自然数の性質などを見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明すること。	- 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示 - ベクトルの内積及びその基本的な性質 - 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できること	- 事象を方向と大きさに着目して捉え、ベクトルによって表現すること。 - 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察すること。 - 図形の性質について、ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて考察すること。 - ベクトルを用いて処理した結果を、図形や具体的な事象に照らして意味づけること。	- 曲線の媒介変数表示 - 極座標、極方程式 - 複素数 - 二次方程式 - 複素数平面と複素数の極形式 - ド・モアブルの定理	- 事象を図形の表し方に着目して捉え、媒介変数表示や極座標表示として表現すること。 - 媒介変数表示や極座標表示による点の位置や曲線の表し方を考察すること。 - 媒介変数表示や極座標を用いて処理した結果を、図形や具体的な事象に照らして意味づけること。 - 事象を図形の表し方に着目して捉え、複素数平面において表現すること。 - 複素数平面における図形の移動などと関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察すること。 - 複素数平面を用いて処理した結果を、図形や具体的な事象に照らして意味づけること。

**理科WGにおける議論の補足イメージ
及び教科の目標、見方・考え方、
資質・能力の全体構造（素案）**

理科の分野・領域の再編について

（現行）

分野	(中学校) 第1分野		(中学校) 第2分野	
領域	エネルギー	粒子	生命	地球
小学校	・風とゴムの力の働き ・磁石の性質 ・電流の働き ・電流がつくる磁力 ・電気の利用 ・光と音の性質 ・電気の通り道 ・振り子の運動 ・てこの規則性	・物と重さ ・金属、水、空気と温度 ・物の溶け方 ・水溶液の性質 ・空気と水の性質 ・燃焼の仕組み	・身の回りの生物 ・人の体のつくりと運動 ・植物の発芽、成長、結実 ・動物の誕生 ・植物の養分と水の通り道 ・生物と環境 ・季節と生物 ・人の体のつくりと働き	・太陽と地面の様子 ・雨水の行方と地面の様子 ・天気の様子 ・流れる水の働きと土地の変化 ・天気の変化 ・月と太陽 ・月と星 ・土地のつくりと変化
中学校	・身近な物理現象 ・電流とその利用 ・運動とエネルギー ・科学技術と人間【分野横断】	・身の回りの物質 ・化学変化と原子・分子 ・化学変化とイオン ・科学技術と人間【分野横断】	・いろいろな生物とその共通点 ・生物の体のつくりと働き ・生命の連続性 ・科学技術と人間【分野横断】	・大地の成り立ちと変化 ・気象とその変化 ・地球と宇宙 ・科学技術と人間【分野横断】
高等学校	《物理基礎》 ・物体の運動とエネルギー ・様々な物理現象とエネルギーの利用	《化学基礎》 ・化学と人間生活 ・物質の構成 ・物質の変化とその利用	《生物基礎》 ・生物の特徴 ・ヒトの体の調節 ・生物の多様性と生態系	《地学基礎》 ・地球のすがた ・変動する地球
	《物理》 ・様々な運動 ・波 ・電気と磁気 ・原子	《化学》 ・物質の状態と平衡 ・物質の変化と平衡 ・無機物質の性質 ・有機化合物の性質 ・化学が果たす役割	《生物》 ・生物の進化 ・生命現象と物質 ・遺伝情報の発現と発生 ・生物の環境応答 ・生態と環境	《地学》 ・地球の概観 ・地球の活動と歴史 ・地球の大気と海洋 ・宇宙の構造
分野	物理分野	化学分野	生物分野	地学分野

（改訂案）

※学習内容例については現行学習指導要領をベースとしたものであり、今後の議論で見直しがありうる。

理科の各分野の区分と分野横断的な学習について

（現行）

分野	（中学校）第1分野							（中学校）第2分野					
領域	エネルギー			粒子				生命			地球		
	エネルギーの捉え方	エネルギーの変換と保存	エネルギー資源の有効利用	粒子の存在	粒子の結合	粒子の保存性	粒子の持つエネルギー	生物の構造と機能	生命の連続性	生物と環境の関わり	地球の内部と地表面の変動	地球の大気と水の循環	地球と天体の運動

（改訂案）

分野	物理分野			化学分野			生物分野			地学分野		
区分	作用と変化	保存とエネルギー変換	空間における伝搬	物質の構成	物質の性質	物質の化学変化	生物の構造と機能	生命の連続性	生物と環境の関わり	地球の内部と地表面の変動	地球の大気と水の循環	地球と天体の運動
横断的学習内容例※	(中学校) エネルギーと物質						(中学校) 生物と環境					
	(小学校) 理科と日常生活（仮称）【新設】 (中学校) 自然環境の保全と科学技術の利用 (高等学校) 科学ガイダンス（仮称）、科目「科学と人間生活」											

※中高の学習内容例については現行学習指導要領をベースとしたものであり、今後の議論で見直しがありうる。

教科の目標、見方・考え方（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
小学校・中学校・高等学校	自然の事物・現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重する心情や人と自然環境の調和に寄与しようとする心情を養う。

見方・考え方

- 自然や社会の事象・言説を、自然科学的な視点から捉え、観察・実験の結果や科学的知見などに基づいて、客観的、論理的、批判的に考察すること

資質・能力の全体構造（素案）

	作用と変化		保存とエネルギー変換		空間における伝搬	
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	力には種類があること、力が働くと運動が変化することを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。	電流の流れ方には特徴があること、エネルギーは変換できることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。	光と音は空間を伝わり、その伝わり方には特徴があることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。
	内容項目例	内容項目例	内容項目例	内容項目例	内容項目例	内容項目例
中学校	力の働き・磁石の性質・電流が作る磁力・この規則性・理科と日常生活（仮称）【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、作用と変化についての特徴を見いだして表現すること。	電気の通り道・光と音の性質・電流の働き・電気の利用・理科と日常生活（仮称）【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、保存とエネルギー変換についての特徴を見いだして表現すること。	- 光と音の性質 - 理科と日常生活（仮称）【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、空間における伝搬についての特徴を見いだして表現すること。
	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	- 力は物体の運動状態を変化させることを理解する。 - 電流と磁場には関係があることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。	- 電気回路における電圧、電流及び抵抗の間には規則性があることを理解する。 - エネルギーは変換されたり保存されたりすることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。	光と音の伝わり方には規則性があることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。
	内容項目例	内容項目例	内容項目例	内容項目例	内容項目例	内容項目例
	- 力の働き - 電流 - 電流と磁場 - 力のつり合いと合成・分解 - 運動の規則性 - 自然環境の保全と科学技術の利用【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、作用と変化についての特徴を見いだして表現すること。	- 電流 - 力学的エネルギー - エネルギーと物質【分野横断】 - 断】 - 自然環境の保全と科学技術の利用【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、保存とエネルギー変換についての特徴を見いだして表現すること。	- 光と音 - エネルギーと物質【分野横断】 - 自然環境の保全と科学技術の利用【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、空間における伝搬についての特徴を見いだして表現すること。

資質・能力の全体構造（素案）

	物質の構成		物質の性質		物質の化学変化	
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	物質が粒子で構成されていることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。	空気や水、金属の性質には共通点や相違点があることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。	化学反応によって物質が変化することを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。
	内容項目例	内容項目例	内容項目例	内容項目例	内容項目例	内容項目例
中学校	- 物と重さ - 空気と水の性質 - 金属、水、空気と温度 - 物の溶け方 - 燃焼の仕組み - 理科と日常生活（仮称）【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析・解釈する活動などを通して、物質の構成の特徴を見いだして表現すること。	- 空気と水の性質 - 金属、水、空気と温度 - 物の溶け方 - 燃焼の仕組み - 水溶液の性質 - 理科と日常生活（仮称）【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析・解釈する活動などを通して、物質の性質の特徴を見いだして表現すること。	- 燃焼の仕組み - 水溶液の性質 - 理科と日常生活（仮称）【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析・解釈する活動などを通して、物質の化学変化の特徴を見いだして表現すること。
	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	物質を、原子・分子、イオンと関連付けて理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。	物質の性質は、原子や分子の状態によって変化することを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。	化学反応においては、反応の前後で原子の数が保存されること、反応には熱が関係していることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。
中学校	内容項目例	内容項目例	内容項目例	内容項目例	内容項目例	内容項目例
	- 水溶液 - 物質の成り立ち - 水溶液とイオン - 化学変化と電池 - エネルギーと物質【分野横断】 - 自然環境の保全と科学技術の利用【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析・解釈する活動などを通して、物質の構成の特徴を見いだして表現すること。	- 物質のすがた - 状態変化 - 化学変化 - 水溶液とイオン - 化学変化と電池 - エネルギーと物質【分野横断】 - 自然環境の保全と科学技術の利用【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析・解釈する活動などを通して、物質の性質の特徴を見いだして表現すること。	- 化学変化 - 化学変化と物質の質量 - 水溶液とイオン - 化学変化と電池 - エネルギーと物質【分野横断】 - 自然環境の保全と科学技術の利用【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析・解釈する活動などを通して、物質の化学変化の特徴を見いだして表現すること。

資質・能力の全体構造（素案）

生物の構造と機能		生命の連続性		生物と環境の関わり	
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
生物には基本的な体のつくりと働きがあることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。	植物と動物の成長の過程を通して、生命の連続性があることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。	生物と環境の間には関係性があることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。
内容項目例		内容項目例		内容項目例	
- 身の回りの生物 - ヒトの体のつくりと運動 - ヒトの体のつくりと働き - 植物の植物の養分と水の通り道 - 理科と日常生活（仮称）【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、生物の構造と機能についての特徴を見いだして表現すること。	- 身の回りの生物・季節と生物 - 植物の発芽、成長、結実 - 動物の誕生 - 理科と日常生活（仮称）【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、生命の連続性についての特徴を見いだして表現すること。	- 身の回りの生物 - 季節と生物 - 生物と環境 - 理科と日常生活（仮称）【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、生物と環境の関わりについての特徴を見いだして表現すること。
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
- 生物は多様であるが、共通点をもつことを理解する。 - 生物の体のつくりと働きには特徴や関係性があり、これらのつくりと働きによって生命活動が行われていることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。	生物の殖え方、遺伝現象、生物の進化には特徴や規則性、関係性があり、生命の連続性があることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。	- 自然界には、生物どうしの関係や生物と環境との間に関係があることを理解する。 - 自然界のつり合いが重要であることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。
内容項目例		内容項目例		内容項目例	
- 生物の観察と分類の仕方 - 生物の体の共通点と相違点 - 生物と細胞 - 植物の体のつくりと働き - 動物の体のつくりと働き・自然環境の保全と科学技術の利用【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、生物の構造と機能についての特徴を見いだして表現すること。	- 生物の観察と分類の仕方 - 生物と細胞 - 生物の成長と殖え方 - 遺伝の規則性と遺伝子 - 生物の種類の多様性と進化 - 自然環境の保全と科学技術の利用【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、生命の連続性についての特徴を見いだして表現すること。	- 生物の観察と分類の仕方 - 生物と環境【分野横断】 - 自然環境の保全と科学技術の利用【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、生物と環境の関わりについての特徴を見いだして表現すること。

資質・能力の全体構造（素案）

	地球の内部と地表面の変動		地球の大気と水の循環		地球と天体の運動	
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	流水の働きや火山、地震などによって、地表が変化することを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。	天気が時間とともに変化することを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。	太陽や月などの天体があり、それが見える位置は時間とともに移動することを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。
小学校	内容項目例		内容項目例		内容項目例	
	- 雨水の行方と地面の様子 - 流れる水の働きと土地の変化 - 土地のつくりと変化 - 理科と日常生活（仮称）【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、地球の内部と地表面の変動についての特徴を見いだして表現すること。	- 太陽と地面の様子 - 雨水の行方と地面の様子 - 天気の様子 - 流れる水の働きと土地の変化 - 天気の変化 - 理科と日常生活（仮称）【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、地球の大気と水の循環についての特徴を見いだして表現すること。	- 太陽と地面の様子 - 月と星 - 月と太陽 - 理科と日常生活（仮称）【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、地球と天体の運動についての特徴を見いだして表現すること。
中学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	- 地層から、過去の様子を知ることができることを理解する。 - 地球内部の活動に起因する地震や火山活動などが、日本列島に影響を与えていることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。	- 霧や雲の発生などの天気の変化が起きる理由を理解する。 - 日本列島の気象は、周囲の海洋の影響を受けていることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。	太陽系には地球を含む様々な天体があること、太陽系の天体の動きと地球からの見え方を理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。
	内容項目例		内容項目例		内容項目例	
	- 身近な地形や地層、岩石の観察 - 地層の重なりと過去の様子 - 火山と地震 - 自然の恵みと火山災害・地震災害・生物と環境【分野横断】 - 自然環境の保全と科学技術の利用【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、地球の内部と地表面の変動についての特徴を見いだして表現すること。	- 気象観測 - 天気の変化 - 日本の気象 - 自然の恵みと気象災害 - 生物と環境【分野横断】 - 自然環境の保全と科学技術の利用【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、地球の大気と水の循環についての特徴を見いだして表現すること。	- 天体の動きと地球の自転 - 公転・太陽系と恒星 - 自然環境の保全と科学技術の利用【分野横断】	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、地球と天体の運動についての特徴を見いだして表現すること。

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
科学と人間生活	自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重する心情や人と自然環境の調和に寄与しようとする心情を養う。

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
物理基礎	日常生活や社会との関連を図りながら、物理的な事物・現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と人と自然環境の調和に寄与しようとする心情を養う。
物理	物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と人と自然環境の調和に寄与しようとする心情を養う。

資質・能力の全体構造（素案）

作用と変化		保存とエネルギー変換		空間における伝搬	
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
物体に作用する力と物体の運動状態の間には規則性があることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。	エネルギーは変換されたり保存されたりすることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。	波は振動の伝搬であることを理解する	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。
内容項目例		内容項目例		内容項目例	
- 運動の表し方 - 様々な力とその働き - 物理学が拓く世界	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、作用と変化についての特徴を見いだして表現すること。	- 力学的エネルギー - 熱 - 電気 - エネルギーとその利用 - 物理学が拓く世界	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、保存とエネルギー変換についての特徴を見いだして表現すること。	- 波 - 物理学が拓く世界	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、空における伝搬についての特徴を見いだして表現すること。
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
- 力学的な力と電磁気学的な力には共通性があることを理解する。 - 荷電と電場や磁場との間には、規則性があることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。	- 運動量やエネルギーは保存することを理解する。 - 直流回路と交流回路には特徴があることを理解する。 - 質量とエネルギーには等価性があることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。	- 波で生じる現象を理解する。 - 電子や光は波と粒子の二重性をもつことを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。
内容項目例		内容項目例		内容項目例	
- 様々な運動 - 電気と磁気 - 原子	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、作用と変化についての特徴を見いだして表現すること。	- 様々な運動 - 電気と磁気 - 原子	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、保存とエネルギー変換についての特徴を見いだして表現すること。	- 波 - 電気と磁気 - 原子	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、空間における伝搬についての特徴を見いだして表現すること。

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
化学基礎	日常生活や社会との関連を図りながら、化学的な事物・現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と人と自然環境の調和に寄与しようとする心情を養う。
化学	化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と人と自然環境の調和に寄与しようとする心情を養う。

資質・能力の全体構造（素案）

		物質の構成		物質の性質		物質の化学変化	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
化学基礎	高等学校	- 原子の性質は、原子核を構成する陽子と中性子、電子配置により特徴付けられることを理解する。 - 物質の量を原子や分子などの個数として捉えることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。	- 物質の性質は、元素の組成や構成原子の電子の状態により特徴付けられることを理解する。 - 物質の状態は、構成する原子や分子の熱運動と関係があることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。	- 化学反応は、物質量（原子や分子の数）で捉える必要があること理解する。 - 化学反応は、物質間の電子の授受が関係していることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。
		内容項目例		内容項目例		内容項目例	
		- 化学と物質 - 物質の構成粒子 - 物質量と化学反応式 - 化学が拓く世界	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、物質の構成の特徴を見いだして表現すること。	- 化学と物質 - 物質と化学結合 - 物質量と化学反応式 - 化学反応 - 化学が拓く世界	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、物質の性質の特徴を見いだして表現すること。	- 物質量と化学反応式 - 化学反応 - 化学が拓く世界	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、物質の化学変化の特徴を見いだして表現すること。
		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
化学	高等学校	元素は、電子配置の特徴によって整理できることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。	- 物質の状態とその変化は、分子間力や化学結合、状態間の平衡と関係があることを理解する。 - 無機物質や有機化合物の性質を理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。	- 物質の化学反応は、エネルギーや化学平衡と関係があることを理解する。 - 無機物質や有機化合物における反応の特徴を理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。
		内容項目例		内容項目例		内容項目例	
		- 無機物質の性質 - 有機化合物の性質 - 化学が果たす役割	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、物質の構成の特徴を見いだして表現すること。	- 物質の状態と平衡 - 無機物質の性質 - 有機化合物の性質 - 化学が果たす役割	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、物質の性質の特徴を見いだして表現すること。	- 物質の変化と平衡 - 無機物質の性質 - 有機化合物の性質 - 化学が果たす役割	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、物質の化学変化の特徴を見いだして表現すること。

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
生物基礎	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重する心情や人と自然環境の調和に寄与しようとする心情を養う。
生物	生物学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重する心情や人と自然環境の調和に寄与しようとする心情を養う。

資質・能力の全体構造（素案）

		生物の構造と機能		生命の連続性		生物と環境の関わり	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
生物基礎	高等学校	- 生物は多様でありながら、「細胞が基本的な単位である」、「エネルギーを利用する」という共通性をもっていることを理解する。 - ヒトの体は、神経系と内分泌系による調節や免疫の働きなどによって調節され、生命活動が行われていることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。	生物は多様でありながら、「遺伝物質としてDNAがあり自己複製する」という共通性をもっていることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。	- 生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を理解する。 - 生態系の保全の重要性について理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。
		内容項目例		内容項目例		内容項目例	
		- 生物の特徴 - 神経系と内分泌系による調節 - 免疫	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、生物の構造と機能についての特徴を見いだして表現すること。	- 生物の特徴 - 遺伝子とその働き	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、生命の連続性についての特徴を見いだして表現すること。	- 生物の特徴 - 植生と遷移 - 生態系とその保全	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、生物と環境の関わりについての特徴を見いだして表現すること。
生物	高等学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		- 生物の体内には生命を維持するために必要な物質や細胞があり、そこで化学反応が起こることによって生命活動が行われていることを理解する。 - 生物は環境変化に対して反応したり、行動したりすることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。	- 生物の進化は蓄積された遺伝子の変化の結果であることを理解する。 - 遺伝子の情報が発現することによって細胞や生物が特有の性質をもつことを理解する。 - 発生は遺伝子発現が関わっていることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。	- 生態系における個体群内の関係性と個体群間の関係性を理解する。 - 生態系における物質生産と物質循環を理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。
		内容項目例		内容項目例		内容項目例	
		- 生物の進化 - 生命現象と物質 - 生物の環境応答	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、生物の構造と機能についての特徴を見いだして表現すること。	- 生物の進化 - 遺伝情報の発現と発生	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、生命の連続性についての特徴を見いだして表現すること。	- 生物の進化 - 生物の環境応答 - 生態と環境	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、生物と環境の関わりについての特徴を見いだして表現すること。

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
地学基礎	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と人と自然環境の調和に寄与しようとする心情を養う。
地学	地学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と人と自然環境の調和に寄与しようとする心情を養う。

資質・能力の全体構造（素案）

		地球の内部と地表面の変動		地球の大気と水の循環		地球と天体の運動	
地学基礎	高等学校	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		- プレートの運動によって、地震や火山活動が生じていることを理解する。 - 古生物の活動と地球環境は相互に影響を及ぼしていたことを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。	地球における様々なエネルギーの出入りや移動について、全体としてエネルギーの収支はつりあっていることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。	- 宇宙、太陽系、地球の誕生について理解する。 - 地球には生命が生まれる条件が備わっていたことを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。
		内容項目例		内容項目例		内容項目例	
地学	高等学校	- 惑星としての地球・活動する地球 - 地球の変遷 - 地球の環境	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、地球の内部と地表面の変動についての特徴を見いだして表現すること。	- 大気と海洋 - 地球の変遷 - 地球の環境	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、地球の大気と水の循環についての特徴を見いだして表現すること。	地球の変遷	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、地球と天体の運動についての特徴を見いだして表現すること。
		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		- 地球の形状や内部構造は、重力や地震波などによって推測できることを理解する。 - 地球の歴史を通して、地球内部の活動によって、地表が大きく変化してきたことを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。	- 大気や海洋は層構造をしていることを理解する。 - 日本や世界の気象は、地形に加え、大気と海洋の大循環や大規模な現象によって影響を受けていることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。	地球上での視運動から天体運動の規則性を見いだすことができることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。
		内容項目例		内容項目例		内容項目例	
		- 地球の概観 - 地球の活動と歴史	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、地球の内部と地表面の変動についての特徴を見いだして表現すること。	- 地球の活動と歴史 - 地球の大気と海洋	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、地球の大気と水の循環についての特徴を見いだして表現すること。	- 地球の活動と歴史 - 宇宙の構造	観察、実験や資料に基づいて分析し解釈する活動などを通して、地球と天体の運動についての特徴を見いだして表現すること。

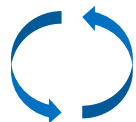
**体育・保健体育、健康、安全WGにおける
議論の補足イメージ及び
教科の目標、見方・考え方、
資質・能力の全体構造（素案）**

体育・保健体育等を学ぶ意義・価値について（第1回・第2回の委員発表をもとに作成）

幸福な人生 よりよい社会

学ぶ過程の中で 見方・考え方

が徐々に資質・能力の育成を導くようになってともに、よりよい社会や幸福な人生に繋がっていく



資質・能力 が身に付く

【知識及び技能に関する統合的な理解】
【思考力、判断力、表現力等の総合的な発揮】

主体的・対話的で 深い学び

学校における学び

幸福な人生

- 生涯を通じた持続的な身体的・精神的・社会的に良い状態（ウェルビーイングな状態）の実現
- 運動・スポーツとの「する、みる、支える、集まる、つながる」等の関わり方を通じた、生涯にわたる楽しさや喜びの享受と自身の可能性を最大化する豊かなスポーツライフの実現
- 自他が安全で安心し、健康を保持増進する人生

よりよい社会

- 活力あふれる健康長寿社会・共生社会を実現し社会全体が持続的にウェルビーイングである状態
- 運動・スポーツを通じた地域・経済の活性化、人々の豊かな繋がり、新たな価値創造の実現
- 人々が健康・安全で、未知の課題にも柔軟かつ持続的に対応できる能力を備え、豊かな人生を送ることのできる社会を含む環境づくりに、様々な担い手が主体的・協働的に参画する社会

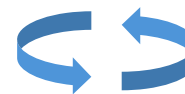
学校で体育・保健体育等を学ぶ「本質的意義」

体育

- 身体を媒介に運動学習を行うという独特の学習方法を有し、「運動・スポーツの価値」を体感できるとともに、非認知能力を含む身体的・社会的・情意的スキルの育成に大きな力を発揮する強みがある。
- 全ての子供に運動・スポーツとの多様な関わりを保証するとともに、人と関わりながら自分らしく健康で生き生きとした人生を送る基盤づくりに貢献する、知・徳・体のバランスを支える不可欠な学び。
- デジタル技術が発展する中で、「身体を通じた人間性の醸成」「社会性の育成」「自己理解の深化」の場としての意義・価値を有する。
- 授業における多様性の包摂を通じて、自らの豊かなスポーツライフを舵取りする力と、スポーツを通した誰も取り残さない共生社会の創り手の育成の両方を目指すことができる。

健康・安全

- 学齢期の健康や安全に関する課題の克服、リスクの軽減に資するとともに、生涯を通じて、身体的・精神的・社会的に良い状態で豊かな生活を送る上での基礎を培う役割がある。なお、学校は、発達段階を踏まえつつ、保健について計画的かつ系統的に学ぶことのできる最適な場所と考えられる。
- 知識の集積に止まらない健康に関する原則・概念を習得することにより、健康に関わる自己決定能力を育み、未知の健康課題にも対応できる柔軟で持続的なコンピテンシーを身に付けることができる。
- 学習内容を日常生活で行動化する実践力を身に付けることで、現代的課題を含めた様々な課題に対応することができるようになるとともに、保健・安全に関するより良い社会を含む環境の創造に主体的・協働的に参画できる力を育てることにつながる。



「未来社会を生き抜く
人間力」の育成に直結

教科の目標、見方・考え方（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
小学校	運動の特性等に応じた運動の行い方や自他の運動への関わり方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、それらに関する基本的な動きや技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての課題を見付け、運動に豊かに取り組んだり、課題を解決したりするために必要なことについて考え判断するとともに、他者に伝える力を養う。	- 運動との多様な楽しみ方や自己の心身の健康に関心を持ち、目的に応じた運動や健康についての課題解決に向けて、他者と協力したり自ら試行錯誤したりする態度を養う。 - 自己にとっての運動や健康の価値を見出しつつ、体力の向上や健康の保持増進を目指し、明るく楽しい生活を営む態度を養う。
中学校	運動の特性等に応じた運動に関する技能や自他の運動への豊かな関わり方及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、それらに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての課題を発見し、運動に豊かに取り組んだり、課題を解決したりするために必要なことについて、合理的に考え判断するとともに、他者に伝える力を養う。	- 生涯にわたる運動との多様な楽しみ方や自他の心身の健康に関心を持ち、目的に応じた運動や健康についての課題解決に向けて、他者と協力したり自ら試行錯誤したりする態度を養う。 - 自己にとっての運動や健康の価値を見出しつつ、体力の向上や健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
高等学校	運動の特性等に応じた運動に関する技能や生涯にわたる自他の運動への豊かな関わり方及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、それらに関する技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての課題を発見し、運動に豊かに取り組んだり、課題を解決したりするために必要なことについて、合理的、計画的に考え判断するとともに、他者に伝える力を養う。	- 生涯にわたる運動との継続的で多様な楽しみ方や自他の心身の健康やそれを支える社会づくりに関心を持ち、目的に応じた運動や健康についての課題解決に向けて、他者と協力したり自ら試行錯誤したりする態度を養う。 - 自己にとっての運動や健康の価値を見出しつつ、体力の向上や健康の回復・保持増進を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

見方・考え方

- 【体育】・運動やスポーツを、心身の充実に果たす役割や多様な楽しみ方の視点から捉え、自他の豊かな生活及び活力あふれる社会づくりにつなげること。
- 【保健】・保健に関する課題や情報を、健康や安全に関する概念やそれに関わる原則に着目して捉え、リスクの軽減や生活の質の向上、及び健康・安全を支える環境づくりにつなげること。

資質・能力の全体構造（素案）

体づくり運動系、体づくり運動		器械運動系、器械運動	
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
心と体の関係に気付いたり仲間と関わり合ったりすることにより、体を動かす心地よさを味わったり、体の動きを高めたりすることができることを理解する	心身の状態等に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して運動に取り組むことができるような行い方を選ぶ	器具等を使い、回転したり、支持したり、逆位になったり、懸垂したりするなどの動きや技に挑戦し、各自の課題に応じた動きや技ができるようになることにより、楽しさや喜びを一層味わうことができることを理解する	器具等を使う運動について、自己の課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して運動に取り組むことができるような行い方を選ぶ
内容項目例		内容項目例	
- 体ほぐしの運動遊び・運動 - 多様な動きをつくる運動遊び・運動 - 体の動きを高める運動	- 心と体の状態等に応じて運動の課題や行い方を選ぶこと - 誰もが気付きや関わり合いが深まる運動や、体の動きを高めるために適した運動の行い方を工夫したりすること	- 固定施設を使った運動遊び - マットを使った運動遊び・運動 - 鉄棒を使った運動遊び・運動 - 跳び箱を使った運動遊び・運動	器具等を使う運動について、自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりすること
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
心と体の関係や自身の状況等を踏まえ、仲間と関わり合ったり、計画的に生活に運動を取り入れたりすることで、体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、体の動きを高めたりすることができることを理解する	心身の状況等から、自他が体を動かす楽しさや心地よさを味わったり体の動きを高めたりするために必要なことを考え、運動を通して仲間と関わる方法や運動の組み合わせを工夫する	器具の特性等に応じて、回転したり、支持したり、懸垂したり、バランスをとったりするなどの技に挑戦し、各自の課題に応じた技ができるようになることにより、自他が楽しさや喜びを一層味わうことができることを理解する	器具の特性等から、自他が器械運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら技を習得する練習方法や演技構成を工夫する
内容項目例		内容項目例	
- 体ほぐしの運動 - 体の動きを高める運動 - 実生活に生かす運動の計画	動きの組み合わせ方や仲間との関わり合いなどの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること	- マット運動の基本的な技 - 鉄棒運動の基本的な技 - 平均台運動の基本的な技 - 跳び箱運動の基本的な技	器具等を使う運動について、技の行い方や技の組み合わせ方などの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
心と体の関係や自身の状況等を踏まえ、仲間と主体的に関わり合ったり、計画的に生活に運動を取り入れたりすることで、体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、生涯にわたる健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図ることができることを理解する	心身の状況等から、自他が体を動かす楽しさや心地よさを味わったり体の動きを高めたりするために必要なことを考え、運動を通して仲間と関わる方法や運動の組み合わせを合理的、計画的に工夫する	器具の特性等に応じて、回転したり、支持したり、懸垂したり、バランスをとったりするなどの技に挑戦し、各自の課題に応じて技が滑らかに安定してできるようになることにより、自他が楽しさや喜びを一層味わうことができることを理解する	器具の特性等から、自他が器械運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら技を習得する練習方法や演技構成を、合理的、計画的に工夫する
内容項目例		内容項目例	
- 体ほぐしの運動 - 実生活に生かす運動の計画	運動の行い方や運動の実生活への取り入れ方の課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること	- マット運動の基本的な技と発展技 - 鉄棒運動の基本的な技と発展技 - 平均台運動の基本的な技と発展技 - 跳び箱運動の基本的な技と発展技	器具等を使う運動について、技や演技、仲間との関わり方など課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること

資質・能力の全体構造（素案）

陸上運動系、陸上競技		水泳運動系、水泳	
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
走ったり、バトンの受け渡しをしたり、リズムカルにハードルを走り越えたり、リズムカルな助走から踏み切ったり跳んだりして、記録に挑戦したり、相手と競争したりすることにより、一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	走・跳等に関する自己の課題の解決の仕方や競争・記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して運動に取り組むことができるような行い方を選ぶ	泳ぐ距離や浮いている時間を伸ばしたり、記録を達成したりすることにより、水の中での活動で一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	水の中での活動に関する自己の課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して運動に取り組むことができるような行い方を選ぶ
内容項目例		内容項目例	
- 走の運動遊び、跳の運動遊び - かけっこ、短距離走・リレー - 小型ハードル走・ハードル走 - 幅跳び・走り幅跳び - 高跳び・走り高跳び	走・跳等に関する自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりすること	- 水の中を移動する運動遊び - もぐる・浮く運動遊び - 浮いて進む運動、もぐる・浮く運動 - クロール、平泳ぎ - 安全確保につながる運動	水の中での活動に関する自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりすること
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
走・跳に関する基本的な動きや効率的な動きで、記録に挑戦したり相手と競争したりすることで、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	走・跳の特性等を踏まえ、自他が陸上運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら基本的な動きや効率的な動きを習得する練習方法や競争の仕方を工夫する	泳法の特性等に応じて、効率的な泳ぎで、続けて長く泳いだり、速く泳いだり、競い合ったりすることにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	泳法の特性等から、自他が水泳運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら効率的な動きや長く泳ぐための動きの習得方法を工夫する
内容項目例		内容項目例	
- 短距離走・リレー、長距離走、ハードル走 - 走り幅跳び、走り高跳び	陸上運動に関する基本的な動きや効率的な動きなどの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること	クロールや平泳ぎ等の泳法	泳法などの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
走・跳・投に関する合理的・効率的な動きで、記録に挑戦したり相手と競争したりすることで、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	走・跳・投の特性等を踏まえ、自他が陸上競技の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら合理的・効率的な動きを習得する練習方法や競争の仕方を合理的、計画的な解決に向けて工夫する	泳法の特性等に応じて、効率的でバランスを保った泳ぎで続けて長く泳いだり、速く泳いだり、競い合ったりすることにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	泳法の特性等から、自他が水泳の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら効率的な動きや長く泳ぐための動きの習得方法を合理的、計画的な解決に向けて工夫する
内容項目例		内容項目例	
- 短距離走・リレー、長距離走、ハードル走 - 走り幅跳び、走り高跳び - 砲丸投げ、やり投げ	陸上競技に関して、合理的・効率的な動きなどの課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること	- クロールや平泳ぎ等の泳法 - 複数の泳法	各泳法の合理的な動きなどの課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること

資質・能力の全体構造（素案）

	ボール運動系、球技		武道	
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	ゲームの特性等に応じて、自身の動きやボールに関する操作及び仲間と連携したゲームを展開することにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	ゲームの特性等から、自他が運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と伝え合いながらルールや作戦、運動の取り組み方等を工夫する		
	内容項目例	内容項目例	内容項目例	内容項目例
中学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	ゲームの特性等に応じて、自身の動きやボール等に関する操作及び仲間と連携した動きで、攻防を展開し、勝敗を競うことにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	ゲームの特性等から、自他がボール運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら練習方法や作戦、攻防の展開を工夫する	攻防の特性等に応じて、自分の力や相手の力を効率的に使う基本的な技を仕掛けたり相手の動きを制御したりして簡易な攻防を展開し、勝敗を競い合い互いに高め合うことにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	攻防の特性等から、自他が武道の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら技の習得方法や簡易な攻防の展開を工夫する
	内容項目例	内容項目例	内容項目例	内容項目例
高等学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	ゲームの特性等に応じて、作戦や状況に応じた自身の動きやボール等に関する操作及び仲間と連携した動きで、攻防を展開し、勝敗を競うことにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	ゲームの特性等から、自他が球技の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら練習方法や作戦、攻防の展開を合理的、計画的な解決に向けて工夫する	攻防の特性等に応じて、自分の力や相手の力を効率的に使う得意技を仕掛けたり相手の動きを制御したりして攻防を展開し、勝敗を競い合い互いに高め合うことにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	攻防の特性等から、自他が武道の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら技の習得方法や攻防の展開を合理的、計画的な解決に向けて工夫する
	内容項目例	内容項目例	内容項目例	内容項目例

資質・能力の全体構造（素案）

表現運動系、ダンス		体育理論	
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
小学校	自己の心身を解き放して、イメージやリズムの世界に没入して踊ることにより、楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	表現やダンスの特性等に応じて、自己の課題の解決の仕方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して表現に取り組むことができるような発表・交流の仕方を工夫する	
	内容項目例	内容項目例	
	- 表現遊び、リズム遊び - 表現、リズムダンス - フォークダンス	表現や交流を行うにあたっての自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりすること	
中学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な発揮
	様々なダンスの特性等に応じて、リズムやイメージ、踊りの特徴等を捉えて仲間とともに踊ったり自己を表現したりすることにより、自他が一層喜びや楽しさを味わうことができることを理解する	表現やダンスの特性等から、表現運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら表現の方法や構成を工夫する	スポーツの文化としての側面や合理的な運動実践に必要なこと等、自他の豊かなスポーツライフの実現に関する科学的知識を身に付けることで、自己の状況等に応じた運動・スポーツとの多様な関わり方について考えを深めることができることを理解する
	内容項目例	内容項目例	
	- 創作ダンス - フォークダンス - 現代的なリズムのダンス	表現や交流などの課題を発見し、合理的に解決できるよう工夫すること	
高等学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な発揮
	様々なダンスの特性等に応じて、リズムやイメージ、踊りの特徴等を捉えて、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを深めて自己を表現したりすることにより、自他が一層喜びや楽しさを味わうことができることを理解する	ダンスの特性等から、自他がダンスの楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら表現の方法や構成を合理的、計画的な解決に向けて工夫する	スポーツ文化の創造や合理的な運動実践に必要なこと等、自他の豊かなスポーツライフの実現に関する科学的知識を多角的に身に付けることで、自己の状況等に応じた運動・スポーツとの多様な関わり方について考えを深めることができることを理解する
	内容項目例	内容項目例	
	- 創作ダンス - フォークダンス - 現代的なリズムのダンス	表現や交流、発表などの課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること	
高等学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な発揮
	様々なダンスの特性等に応じて、リズムやイメージ、踊りの特徴等を捉えて、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを深めて自己を表現したりすることにより、自他が一層喜びや楽しさを味わうことができることを理解する	スポーツ文化の創造や合理的な運動実践に必要なこと等、自他の豊かなスポーツライフの実現に関する科学的知識を多角的に身に付けることで、自己の状況等に応じた運動・スポーツとの多様な関わり方について考えを深めることができることを理解する	スポーツ文化の創造や豊かなスポーツライフの継続のために必要なことを考え、自己の状況等に応じたスポーツとの関わり方を工夫する
	内容項目例	内容項目例	
	- 創作ダンス - フォークダンス - 現代的なリズムのダンス	表現や交流、発表などの課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること	
高等学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な発揮
	様々なダンスの特性等に応じて、リズムやイメージ、踊りの特徴等を捉えて、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを深めて自己を表現したりすることにより、自他が一層喜びや楽しさを味わうことができることを理解する	スポーツ文化の創造や合理的な運動実践に必要なこと等、自他の豊かなスポーツライフの実現に関する科学的知識を多角的に身に付けることで、自己の状況等に応じた運動・スポーツとの多様な関わり方について考えを深めることができることを理解する	スポーツ文化の創造や豊かなスポーツライフの継続のために必要なことを考え、自己の状況等に応じたスポーツとの関わり方を工夫する
	内容項目例	内容項目例	
	- 創作ダンス - フォークダンス - 現代的なリズムのダンス	表現や交流、発表などの課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること	
高等学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な発揮
	様々なダンスの特性等に応じて、リズムやイメージ、踊りの特徴等を捉えて、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを深めて自己を表現したりすることにより、自他が一層喜びや楽しさを味わうことができることを理解する	スポーツ文化の創造や合理的な運動実践に必要なこと等、自他の豊かなスポーツライフの実現に関する科学的知識を多角的に身に付けることで、自己の状況等に応じた運動・スポーツとの多様な関わり方について考えを深めることができることを理解する	スポーツ文化の創造や豊かなスポーツライフの継続のために必要なことを考え、自己の状況等に応じたスポーツとの関わり方を工夫する
	内容項目例	内容項目例	
	- 創作ダンス - フォークダンス - 現代的なリズムのダンス	表現や交流、発表などの課題を発見し、合理的、計画的に解決したり新たな課題を発見したりできるよう工夫すること	

資質・能力の全体構造（素案）

【全ての領域共通】運動との関わり方		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
	統合的な理解	総合的な発揮
小学校	運動等の特性等に応じて、公正、協力、責任、共生、健康・安全といった概念を踏まえて必要な行動をとることで、自他が運動に豊かに親しむことができることを理解する	運動等の特性等から、自他が運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、自らの運動や仲間との関わり方などを工夫する
	内容項目例	
	公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全等に関する概念や方法等	運動の行い方に関する共生等に関する課題の発見や解決
中学校	統合的な理解	総合的な発揮
	運動等の特性等に応じて、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全といった概念を踏まえて必要な行動をとることで、自他が自らの人生において運動に豊かに親しむことができることを理解する	運動等の特性等から、自他が運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、自らの運動や仲間との関わり方や安全の確保の仕方などを工夫し、生活に適用する
	内容項目例	
	公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全等に関する概念や方法等	運動実践につながる公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全等に関する課題の発見や解決
高等学校	統合的な理解	総合的な発揮
	運動等の特性等に応じて、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全といった概念を踏まえて必要な行動をとることで、自他が自らの人生において他者によりよく関わりながら運動に豊かに親しむことができることを理解する	運動等の特性等から、自他が運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、自らの運動や仲間との関わり方や安全の確保の仕方などを工夫し、生涯にわたる視野を踏まえ生活に適用する
	内容項目例	
	公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全等に関する概念や方法等	運動実践につながる公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全等に関する課題の発見や解決

資質・能力の全体構造（素案）

	健康な生活、健康な生活と現代社会		心の健康、心の健康と対策	
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
小学校	健康の状態には、生活の仕方や生活空間の環境が関わっており、毎日を健康に過ごすためには、生活の仕方や生活環境を整えることが必要であることを理解する	健康な生活の仕方を考え、身近な生活に適用する	心は発達すること、心と体は密接な関係があること等の特徴を踏まえ、不安や悩みに対処することで、心の健康を保つことができることを理解する	心をよりよく発達させたり、不安や悩みに対処する方法を考え、身近な生活に適用する
	内容項目例		内容項目例	
	- 健康な生活 1日の生活の仕方 - 身の回りの環境	- 健康な生活に関わる課題を見付けること - 生活の仕方や生活環境を整えるための方法を考えること	- 心の発達 - 心と体との密接な関係 - 不安や悩みへの対処	- 心の健康に関わる課題の発見 - よりよい心の発達や心と体の関わりについて考えること - 不安や悩みへの対処方法を考えること
	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
中学校	健康の状態には、個人の生活行動や社会環境が関わっており、人が健康に過ごすためには、生活行動を整えたり、より良い社会環境を目指すことが必要であることを理解する	健康を保持増進する方法を見だし、自他の生活に適用する	精神と身体は互いに影響し合うこと等の特徴を踏まえ、欲求やストレスに適切に対処することで、心の健康を保持増進できることを理解する	精神機能を発達させたり、欲求やストレスへの適切な対処法を考え、自他の生活に適用する
	内容項目例		内容項目例	
	- 健康の成り立ち - 生活習慣と健康	- 健康な生活に関する自他の課題の発見 - 生活の質を高める方法を見いだすこと	- 精神機能の発達と自己形成 - 欲求やストレスへの心身への影響 - ストレスへの対処	- 自他の心の健康に関わる課題の発見 - 心の健康を保持増進する方法を見いだすこと - ストレスへの適切な対処の方法を考えること
	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
高等学校	健康は、個人の生活行動と社会環境等の相互作用の下に成立しており、現代社会における健康課題に対応するためには、こうした相互作用を踏まえた行動選択が必要であることを理解する	健康を保持増進するための個人や社会の取組の意義を見だし、社会生活に適用する	精神疾患の疾病概念やその対処方法など、心の健康を維持したり回復したりするために必要なことを理解する	心の健康を維持・回復するために必要な個人の取組や社会的な対策について考え、社会生活に適用する
	内容項目例		内容項目例	
	- 国民の健康課題 - 健康の考え方 - 様々な保健活動や社会的対策	- 健康に関わる自他や社会の課題の発見 - 生活の質の向上に向けた課題解決の方法を整理し、それらを表現すること	- 精神疾患の特徴 - 精神疾患への対処 - 心の健康を維持・回復するための方法や対策	- 自他や社会の心の健康に関わる課題の発見 - 心の健康に関する課題を解決する方法を考えること

資質・能力の全体構造（素案）

	けが・傷害の防止、安全な社会生活		病気・疾病の予防、疾病の予防と対策	
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	けがは、人の行動や生活環境が関わって発生していることを踏まえ、要因に対応した防止方法について身に付けることで、けがの防止につながることを理解する	危険の予測や回避の方法を考え、身近な生活に適用する	身近な病気の要因を踏まえた予防方法をとることで、その予防につながることを理解する	病気概念や予防の原則から、病気の予防方法を考え、身近な生活に適用する
	内容項目例		内容項目例	
中学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	傷害は、人の行動や生活環境及びそれらの相互によって発生していることを踏まえ、要因に対応した防止方法を身に付けることで、傷害の防止につながることを理解する	危険の予測や回避の方法を多面的に考え、自他の生活に適用する	疾病の要因を踏まえた予防方法をとることで、既存の病気に加え、未知の疾病の予防にも活用できることを理解する	疾病概念や予防の原則を拡張し、疾病の予防方法を考え、自他の生活に適用する
	内容項目例		内容項目例	
高等学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	事故の要因や予防の考え方について身に付け、社会的な対策を講じることで、安全な社会の形成につなげられることを理解する	自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避する方法を考え、社会生活に適用する	疾病の特徴を踏まえた社会的な対策を講じることで、生涯の各段階の疾病の予防につながることを理解する	疾病概念や予防の原則を拡張し、疾病の特徴や生涯の各段階に応じた予防や回復の方法、社会的な対策を選択し、社会生活に適用する
	内容項目例		内容項目例	
高等学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	事故の発生要因 安全な社会の形成に必要なこと 速やかで適切な応急手当	安全な社会生活に関わる課題の発見 自他や社会の危険予測、回避方法 傷害の悪化の防止方法	感染症の疾病概念と予防方法 生活習慣病やがんの疾病概念と予防と回復の方法	疾病の予防に関する自他や社会の課題の発見 疾病の特徴に応じてリスクを軽減し健康を保持増進するための個人の取組や社会的な対策を考えること 生涯の各段階に応じた課題解決

資質・能力の全体構造（素案）

	体の発育・発達、身体機能の発達、生涯を通じる健康		健康と環境、健康を支える環境づくり	
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
小学校	思春期の体の変化を踏まえた適切な生活の仕方を身に付けることで、体をよりよく成長させられることを理解する	体をよりよく発育・発達させる方法について考え、身近な生活に適用する		
	内容項目例		内容項目例	
	- 体の発育・発達 - 思春期の体の変化 - 体をよりよく発育・発達させるための生活	- 体の発育・発達に関わる事象から課題を見付けること - 体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方を考えること		
中学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	身体機能の発達を踏まえた適切な生活行動について身に付けることで、よりよい成長や行動選択ができるようになることを理解する	身体機能の発達や適切な生活行動について考え、自他の生活に適用する	衛生等の環境が、人の健康の保持増進に関連があることを理解する	健康と環境に関わる概念や原則を生活環境から社会に関わる環境まで拡張し、健康を保持増進する方法を考え、自他の生活に適用する
	内容項目例		内容項目例	
	- 身体機能の発達 - 生殖に関わる機能の成熟	- 身体機能発達に関する自他の課題の発見 - 発達の状況に応じた健康を保持増進する方法を見いだすこと	- 身体的环境に対する適応能力・至適範囲 - 飲料水や空気の衛生的管理 - 生活に伴う廃棄物の衛生的管理 - 健康を守る社会の取組	- 健康と環境に関する自他の課題の発見 - 健康と環境に関わる課題や情報を整理して、健康を保持増進する方法を見いだすこと
高等学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	生涯の各段階の健康課題を踏まえた健康管理や環境づくりを行うことで、生涯を通じた健康の保持増進や回復につながることを理解する	生涯を通じる健康について考え、社会生活に適用する	健康を支える環境づくりが、自他の健康の保持増進に関連があることを理解する	健康と環境に関わる概念や原則を健康を支える環境づくりまで拡張し、全ての人が健康に生きていくための環境について考え、社会生活に適用する
	内容項目例		内容項目例	
	- 生涯の各段階における健康 - 労働と環境	- 生涯の各段階における自他や社会の課題の発見 - 生涯の各段階に応じて健康を保持増進するための個人の取組や社会的な対策を考えること - 生涯の各段階に応じた課題解決	- ヘルスプロモーションの考え方 - 環境・食品と健康 - 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 - 様々な保健活動や社会的対策 - 健康に関する環境づくりと社会参加	- 健康を支える環境づくりに関する自他や社会の課題の発見 - 健康を支える環境づくりについて、個人の取組や社会的な対策を考えること

**芸術WGにおける議論の補足イメージ
及び教科の目標、見方・考え方、
資質・能力の全体構造（素案）**

目標及び見方・考え方等の改善の方向性①



芸術系教科における現状と課題例

第1回及び第2回WGにおける委員の意見や学習指導要領実施状況調査の分析などにより、芸術系教科として以下の現状と課題が考えられる。

- 我が国の文化芸術に関する教育の充実が求められていること
- 教師からの働きかけが強く、子供が自律的に学習を進められていない状況が一部に見られること
- 表現及び鑑賞の活動の相互の関連付けが適切に行われていない状況があること
- 児童生徒が芸術系教科・科目の学びの意義について、十分に実感できている状況に至っていないこと
- 芸術系教科・科目での学びを、豊かな社会の創造にどのようにつなげていけるのか

子供たちが正解を求めることなく、芸術のよさや面白さを感じようとする意識をもつことができていないのではないか

子供たちが諸感覚を働かせて感じたことを、知識を基に説明したり、教師が多様な子供の視点や考え方に目を向けることができていないのではないかなど

子供たちに、学校教育で身に付けた資質・能力を生活や社会などへ関わらせていく視座が形成できていないのではないかなど

文化芸術基本法（平成13年12月7日法律第148号）（抄）

（学校教育における文化芸術活動の充実）

第二十四条 国は、学校教育における文化芸術活動の充実を図るため、**文化芸術に関する体験学習等文化芸術に関する教育の充実**、芸術家等及び文化芸術団体による学校における文化芸術活動に対する協力への支援その他の必要な施策を講ずるものとする。

令和4年度小学校学習指導要領実施状況調査の結果の例

・「音楽の授業で学んだことは、私たちの生活や社会でいかすことができると思う」
→ 肯定的に回答する児童の割合が55.5%

・「図画工作の時間で学習したことを、ふだんの生活の中に生かしている」
→ 肯定的に回答する児童の割合が60.1%

第1回、第2回ワーキンググループにおける委員の意見の例

- ・子供自身が考えることができる指導が重要。指導過多でもなく放任でもなく、教師が指導することと子供が考えることとのバランスを考えると、学習の過程を重視した指導が求められる。
- ・創造性は今むしろ社会との関わりにおいてベクトルは外に向かうのだということが非常に重要になってきている。
- ・子供自らが問いを立てて課題を解決できるような授業を考えることが大切。



改善の方向性（案）

現状と課題を踏まえ、目標及び見方・考え方、高次の資質・能力等について、以下の改善の方向性が考えられる。

- ① **捉えたり、感じたりしたことを、要素・特徴※や背景にある文化との関わりで理解したり思考・判断・表現したりすることができるようにすること（○）**
※ 音楽を形づくっている要素、造形的な特徴、書を構成する要素
- ② **表現したいことをどのように形にできるか、他者に伝えることができるか、という自分の思いや考えをもつことができることや、諸感覚を働かせつつ身体性を伴った技能により表現することを重視（▲）**
- ③ **表現及び鑑賞の学習において、正解は一つではなく、児童生徒一人一人のありようが尊重されるべきものであること（△、◆、▲、■）**
- ④ **表現及び鑑賞の学習において、工夫したことや感じたことを伝え合うなどの言語活動等を通して、感じ方や考え方を深めるようにすること（■）**
- ⑤ **他者とともに協働する学習を通じて、共感したり多様な視点で考えたりできるようにすること（■）**
- ⑥ **生活や社会、文化などとの関わりや、意味や価値を見いだしたり、つくりだしたりするなど豊かな社会の創造や幸福な人生につなげていくことについて示すこと（◇）**

（次期学習指導要領に向けた基本的な考え方）

- ・主体的・対話的で深い学びの実装（○）
- ・多様性の包摂（△）
- ・実現可能性の確保
- ・自らの人生の舵取りをする力と民主的な社会の創り手育成（◇）

（学びに向かう力、人間性等の今後の整理イメージ）

- ・学びを方向付ける人間性
 - ・初発の思考や行動を起こす力・好奇心（▲）
 - ・他者との対話や協働（■）
 - ・学びの主体的な調整（◆）
- ※主として考えられる関係性を記号で示している

教科の目標、見方・考え方（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
小学校	曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、曲や音楽を創造的に表現するために必要な技能を身に付けるようにする	音楽表現について考え思いや意図をもったり、曲や演奏のよさや楽しさなどを見いだしながら味わって聴いたりすることができるようにする	楽しさを味わいながら主体的・協働的に音楽活動に取り組み、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、創造的に音楽に関わり親しむ態度を養い、豊かな情操を培う
中学校	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、曲や音楽を創造的に表現するために必要な技能を身に付けるようにする	表したい音楽表現について考え思いや意図をもったり、曲や演奏の価値などを考えながら音楽を味わって聴いたりすることができるようにする	楽しさを味わいながら主体的・協働的に音楽活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、創造的に音楽や音楽文化に関わり親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う

見方・考え方

- 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、音や音楽、文化などの視点で捉え、意味や価値を見いだすこと

資質・能力の全体構造（素案）

小学校	A 表現	歌唱・器楽	思考力、 判断力、 表現力等	総合的な発揮	内容項目例
				音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、曲の特徴を生かした表現に対する思いや意図をもち、自分や他者にとって歌唱や器楽による表現がもつ意味や価値について考え、音楽表現を深めることができる	〔共通事項〕 ・ 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの関わりについて考える ・ 思いや意図をもつ
			知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
				曲の特徴などを個々の感じ方や考え方等に基づいて実感を伴って捉えながら、状況や課題に応じて身体の使い方を調節することにより、思いや意図を歌唱や器楽で表現できることを理解している	〔共通事項〕 ・ 音楽を形づくっている要素について理解する ・ 音符、休符、記号や用語について理解する ・ 曲想と音楽の構造などの関わりについて理解する ・ 声や楽器の音色、響きと歌い方や演奏の仕方の関わりについて理解する ・ 聴唱や視唱、聴奏や視奏する技能を身に付ける ・ 発音、発声、奏法の技能を身に付ける ・ 声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける
		音楽づくり	思考力、 判断力、 表現力等	総合的な発揮	内容項目例
				音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、発想を得たり思いや意図をもったりし、自分や他者にとって創作による表現がもつ意味や価値について考え、音楽表現を深めることができる	〔共通事項〕 ・ 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの関わりについて考える ・ 音楽づくりの発想を得る ・ 思いや意図をもつ
			知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
				個々の感じ方や考え方等に応じて音の組み合わせやつなげ方などについて捉えながら、即興的に音を出して試したり音楽の仕組みを用いたりすることにより、発想を得たり思いや意図をもったりして音楽をつくって表現できることを理解している	〔共通事項〕 ・ 音楽を形づくっている要素について理解する ・ 音符、休符、記号や用語について理解する ・ 音の響きやそれらの組み合わせの特徴について理解する ・ 音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について理解する ・ 音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける ・ 音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける

資質・能力の全体構造（素案）

小学校	B 鑑賞	思考力、 判断力、 表現力等	総合的な発揮	内容項目例
			音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、曲全体を見通しながら聴き、自分や他者にとって鑑賞がもつ意味や価値を見だし、音楽を聴き深めることができる	〔共通事項〕 - 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考える - 曲や演奏のよさなどを見いだす
		知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
			個々の感じ方や考え方等に基づいて音楽の特徴などを捉えることにより、よさなどを見いだすことができることを理解している	〔共通事項〕 - 音楽を形づくっている要素について理解する - 音符、休符、記号や用語について理解する - 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解する

資質・能力の全体構造（素案）

中学校	A 表現	歌唱	総合的な発揮	内容項目例
			音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、曲の特徴を生かし自分のイメージと関わらせた表現に対する思いや意図をもち、自分や他者にとって歌唱による表現がもつ意味や価値について考え、音楽表現を深めることができる	〔共通事項〕 ・ 知覚したことと感受したこととの関わりについて考える ・ 思いや意図をもち
		知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
			曲の特徴などを個々の感じ方や考え方等に基づいて実感を伴って捉えながら、状況や課題に応じて身体の使い方を調節することにより、思いや意図を歌唱で表現できることを理解している	〔共通事項〕 ・ 音楽を形づくっている要素とそれらに関わる記号や用語について理解する ・ 曲想と音楽の構造との関わり、声の音色や響きと曲種に応じた発声との関わりなどについて理解する ・ 発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能などを身に付ける
	器楽	表現力、判断力、思考力等	総合的な発揮	内容項目例
			音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、曲の特徴を生かし自分のイメージと関わらせた表現に対する思いや意図をもち、自分や他者にとって器楽による表現がもつ意味や価値について考え、音楽表現を深めることができる	〔共通事項〕 ・ 知覚したことと感受したこととの関わりについて考える ・ 思いや意図をもち
		知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
			曲の特徴などを個々の感じ方や考え方等に基づいて実感を伴って捉えながら、状況や課題に応じて身体の使い方を調節することにより、思いや意図を器楽で表現できることを理解している	〔共通事項〕 ・ 音楽を形づくっている要素とそれらに関わる記号や用語について理解する ・ 曲想と音楽の構造との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりなどについて理解する ・ 楽器の奏法、身体の使い方などの技能などを身に付ける
	創作	表現力、判断力、思考力等	総合的な発揮	内容項目例
			音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、課題や条件に沿って音楽をつくるための思いや意図をもち、自分や他者にとって創作による表現がもつ意味や価値について考え、音楽表現を深めることができる	〔共通事項〕 ・ 知覚したことと感受したこととの関わりについて考える ・ 思いや意図をもち
		知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
			音や音同士の関係の特徴などを個々の感じ方や考え方等に応じて実感を伴って捉えながら、状況や課題に応じて音を選択したり組み合わせたりすることにより、思いや意図を創作で表現できることを理解している	〔共通事項〕 ・ 音楽を形づくっている要素とそれらに関わる記号や用語について理解する ・ 音のつながり方、音素材、音の重なり方、構成上の特徴などについて理解する ・ 課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける

資質・能力の全体構造（素案）

中学校	B 鑑賞	思考力、 判断力、 表現力等	総合的な発揮	内容項目例
			音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、曲や演奏を自分と関わらせながら聴き、自分や他者にとって鑑賞がもつ意味や価値を見だし、音楽を聴き深めることができる	〔共通事項〕 ・ 知覚したものと感受したこととの関わりについて考える ・ 音楽を評価しながら聴く
		知識及び技能	総合的な理解	内容項目例
			音楽の特徴や背景などを個々の感じ方や考え方等に基づいて実感を伴って捉えることにより、よさや美しさなどを見いだすことができることを理解している	〔共通事項〕 ・ 音楽を形づくっている要素とそれらに関わる記号や用語について理解する ・ 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史や文化などとの関わりなどについて理解する

教科の目標、見方・考え方（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
小学校	対象や事象を捉える造形的な視点や造形の働きについて理解するとともに、創造的についたり見たりすることができるようにする	造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする	つくりだす喜びを味わいながら主体的・協働的に活動に取り組むとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う

見方・考え方

- 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、造形的、文化的な視点で捉え、意味や価値をつくりだすこと

資質・能力の全体構造（素案）

小学校	A 表現	造形遊び（仮）	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	形や色などを基に自分のイメージをもちながら、材料や場所などを基に、豊かに発想や構想をすることができる	〔共通事項〕 ・ 形や色などを基に、自分のイメージをもつ ・ 身近な自然物や人工の材料や場所などを基に造形的な活動を思い付くことや、どのように活動するかについて考える
			知識及び技能	統合的な理解	自分の感覚や行為を通して造形的な特徴などを捉えながら、材料や用具を使い、活動を工夫してつくることにより、創造的に表現できることを理解している	〔共通事項〕 ・ 自分の感覚や行為を通して、形や色などや、造形の働きについて理解する ・ 材料や用具を活用するとともに、材料や用具についての経験を生かし、活動を工夫してつくるなどの技能に関する事項を身に付ける
		絵や立体、工作（仮）	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	形や色などを基に自分のイメージをもちながら、感じたことや想像したことなどから、豊かに発想や構想をすることができる	〔共通事項〕 ・ 形や色などを基に、自分のイメージをもつ ・ 感じたこと、想像したことなどから表したいことを見付けられることや、どのように表すかについて考える
			知識及び技能	統合的な理解	自分の感覚や行為を通して造形的な特徴などを捉えながら、材料や用具を使い、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すことにより、創造的に表現できることを理解している	〔共通事項〕 ・ 自分の感覚や行為を通して形や色などや、造形の働きについて理解する ・ 材料や用具を活用するとともに、材料や用具についての経験を生かし、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すなどの技能に関する事項を身に付ける
	B 鑑賞		思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	形や色などを基に自分のイメージをもちながら、作品などの造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げたり深めたりすることができる	〔共通事項〕 ・ 形や色などを基に、自分のイメージをもつ ・ 自分たちの作品や親しみのある美術作品などのよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める
			知識及び技能	統合的な理解	自分の感覚や行為を通して造形的な特徴などを捉えながら、作品などを工夫して見ることにより、創造的に鑑賞できることを理解している	〔共通事項〕 ・ 自分の感覚や行為を通して、形や色などや、造形の働きについて理解する ・ 自分たちの作品や、親しみのある美術作品などを、経験を生かし、体全体の感覚を働かせ、方法を工夫して見る

教科の目標、見方・考え方（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
中学校	対象や事象を捉える造形的な視点や、美術の働き、美術文化について理解するとともに、発想や構想したことを基に創造的に表すことや、美術作品などの情報を読み取ることができるようにする	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、創造的に発想し構想を練ったり、美術作品などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする	創造活動の喜びを味わいながら、主体的・協働的に美術の活動に取り組むとともに、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

見方・考え方

- 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、造形的、文化的な視点で捉え、意味や価値をつくりだすこと

資質・能力の全体構造（素案）

中学校	A 表現	自分と美術（仮）	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	内容項目例
				対象や事象を自己との関わりの視点に立って見つめ、感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生み出し、豊かに発想や構想をすることができる	- 感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生み出す - 創造的な構成を工夫し、表現の構想を練る
		身近な生活や社会と美術（仮）	知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
				造形の要素の働きや全体のイメージ、美術の働きや美術文化について実感を伴って捉えながら、材料や用具の生かし方などを身に付け、自分との関わりの視点から意図に応じて表現方法を工夫して表すことにより、創造的に表現できることを理解している	〔共通事項〕 - 形や色彩などの性質やその効果などと、全体のイメージなどで捉えることを理解する - 美術の働きや美術文化について理解する - 材料や用具の特性を生かし、創造的に表すなどの技能に関する事項を身に付ける - 制作の順序を考えながら見通しをもって表すなどの技能に関する事項を身に付ける
中学校	A 表現	身近な生活や社会と美術（仮）	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	内容項目例
				対象や事象を身近な生活や社会的な視点に立って見つめ、目的や条件などを基に主題を生み出し、豊かに発想や構想をすることができる	- 目的や条件などを基に主題を生み出す - 調和のとれた美しさなどを考えて表現の構想を練る
中学校	A 表現	身近な生活や社会と美術（仮）	知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
				造形の要素の働きや全体のイメージ、美術の働きや美術文化について実感を伴って捉えながら、材料や用具の生かし方などを身に付け、客観的な視点から自分の意図に応じて表現方法を工夫して表すことにより、創造的に表現できることを理解している	〔共通事項〕 - 形や色彩などの性質やその効果などと、全体のイメージなどで捉えることを理解する - 美術の働きや美術文化について理解する - 材料や用具の特性を生かし、創造的に表すなどの技能に関する事項を身に付ける - 制作の順序を考えながら見通しをもって表すなどの技能に関する事項を身に付ける

資質・能力の全体構造（素案）

中学校	B 鑑賞	自分と美術（仮）	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	内容項目例
				自分との関わりの視点に立って美術作品などを見つめ、造形的なよさや美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などを考えて、見方や感じ方を深める
	身近な生活や社会と美術（仮）		知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
				造形の要素の働きや全体のイメージ、美術の働きや美術文化について実感を伴って捉えながら、感じ取ったことや考えたことなどを基に表現された美術作品などの情報を読み取るにより、創造的に鑑賞できることを理解している	〔共通事項〕 - 形や色彩などの性質やその効果などと、全体のイメージなどで捉えることを理解する - 美術の働きや美術文化について理解する - 視覚的な特徴などの情報を読み取る
			思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	内容項目例
				身近な生活や社会的な視点に立って美術作品などを見つめ、目的や機能などとの調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる	目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情、表現の意図と工夫などを考えて、見方や感じ方を深める
			知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
				造形の要素の働きや全体のイメージ、美術の働きや美術文化について実感を伴って捉えながら、目的や機能などを基に表現された美術作品などの情報を読み取るにより、創造的に鑑賞できることを理解している	〔共通事項〕 - 形や色彩などの性質やその効果などと、全体のイメージなどで捉えることを理解する - 美術の働きや美術文化について理解する - 視覚的な特徴などの情報を読み取る

教科の目標、見方・考え方（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
高等学校	各芸術分野の特質や芸術文化について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする	創造的な表現の工夫について考えたり、価値意識をもって芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、芸術によって心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

見方・考え方

- 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、美を構成する要素とその働き、文化などの視点で捉え、芸術の意味や価値を追求すること

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
高等学校	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かし曲や音楽を創造的に表現するために必要な技能を身に付けるようにする	自己のイメージに基づいた音楽表現について考え表現意図をもつことや、曲や演奏を解釈したり評価したりしながら音楽を味わって聴くことができるようにする	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、創造的に音楽や音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養い、豊かな情操を培う

見方・考え方

- 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、音や音楽、文化などの視点で捉え、意味や価値を見いだすこと

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
高等学校	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かし曲や音楽を創造的に表現するために必要な技能を身に付けるようにする	個性豊かな音楽表現について考え表現意図をもつことや、明確な根拠をもって曲や演奏を解釈したり評価したりしながら音楽を味わって聴くことができるようにする	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、創造的に音楽や音楽文化と関わり親しんでいくとともに、音楽によって心豊かな生活や社会を築いていく態度を養い、豊かな情操を培う

見方・考え方

- 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、音や音楽、文化などの視点で捉え、意味や価値を見いだすこと

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
高等学校	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かし、曲や音楽を創造的に表現するために必要な技能を身に付けるようにする	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かな音楽表現について考え表現意図をもつことや、曲や演奏を解釈したり評価したりしながら音楽を味わって聴くことができるようにする	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽や音楽文化を尊重し、音楽によって心豊かな生活や社会を築いていく態度を養い、豊かな情操を培う

見方・考え方

- 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、音や音楽、文化などの視点で捉え、意味や価値を見いだすこと

資質・能力の全体構造（素案）

高等学校	A 表現	歌唱	総合的な発揮	音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、個性を生かした表現に対する表現意図をもち、自分や他者にとって歌唱による表現がもつ意味や価値について考え、音楽表現を深めることができる	〔共通事項〕 ・ 知覚したことと感受したこととの関わりについて考える ・ 表現意図をもち
			統合的な理解	曲の特徴などを個々の感じ方や考え方等に基づいて実感を伴って捉えながら、状況や課題に応じて身体の使い方を調節することにより、表現意図を歌唱で表現できることを理解している	〔共通事項〕 ・ 音楽を形づくっている要素と音楽に関する記号や用語について理解する ・ 曲想と音楽の構造との関わり、声の音色や響きと曲種に応じた発声との関わりなどについて理解する ・ 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能などを身に付ける
		器楽	総合的な発揮	音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、個性を生かした表現に対する表現意図をもち、自分や他者にとって器楽による表現がもつ意味や価値について考え、音楽表現を深めることができる	〔共通事項〕 ・ 知覚したことと感受したこととの関わりについて考える ・ 表現意図をもち
			統合的な理解	曲の特徴などを個々の感じ方や考え方等に基づいて実感を伴って捉えながら、状況や課題に応じて身体の使い方を調節することにより、表現意図を器楽で表現できることを理解している	〔共通事項〕 ・ 音楽を形づくっている要素と音楽に関する記号や用語について理解する ・ 曲想と音楽の構造との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりなどについて理解する ・ 曲にふさわしい楽器の奏法、身体の使い方などの技能などを身に付ける
	創作	創作	総合的な発揮	音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、構成を生かした統一感のある音楽をつくるための表現意図をもち、自分や他者にとって創作による表現がもつ意味や価値について考え、音楽表現を深めることができる	〔共通事項〕 ・ 知覚したことと感受したこととの関わりについて考える ・ 表現意図をもち
			統合的な理解	音や音同士の関係の特徴などを個々の感じ方や考え方等に応じて実感を伴って捉えながら、状況や課題に応じて音楽をつくり変奏や編曲をしたりすることにより、表現意図を創作で表現できることを理解している	〔共通事項〕 ・ 音楽を形づくっている要素と音楽に関する記号や用語について理解する ・ 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型、構成上の特徴について理解する ・ 反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能、変奏したり編曲したりする技能などを身に付ける

資質・能力の全体構造（素案）

高等学校	B 鑑賞	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	内容項目例
			音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、音楽を解釈したり曲や演奏を評価したりしながら聴き、自分や他者にとって鑑賞がもつ意味や価値を見だし、音楽を聴き深めることができる	〔共通事項〕 ・ 知覚したことと感受したこととの関わりについて考える ・ 音楽を解釈したり評価したりしながら聴く
		知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
			音楽の特徴や文化的・歴史的背景などを個々の感じ方や考え方等に基づいて実感を伴って捉えることにより、よさや美しさなどを見いだすことができることを理解している	〔共通事項〕 ・ 音楽を形づくっている要素と音楽に関する記号や用語について理解する ・ 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりなどについて理解する

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
高等学校	対象や事象を捉える造形的な視点や、美術の働き、美術文化について幅広く理解するとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことや、美術作品などの情報を幅広く読み取ることができるようにする	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫などについて考え、創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術作品などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする	主体的・協働的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、美術によって心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

見方・考え方

- 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、造形的、文化的な視点で捉え、意味や価値をつくりだすこと

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
高等学校	対象や事象を捉える造形的な視点や、美術の働き、美術文化について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことや、美術作品などの情報を深く読み取ることができるようにする	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする	主体的・協働的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、美術によって心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

見方・考え方

- 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、造形的、文化的な視点で捉え、意味や価値をつくりだすこと

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
高等学校	対象や事象を捉える造形的な視点や、美術の働き、美術文化について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことや、美術作品などの情報を精査しながら深く読み取ることができるようにする	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫などについて考え、個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする	主体的・協働的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、美術によって心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

見方・考え方

- 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、造形的、文化的な視点で捉え、意味や価値をつくりだすこと

資質・能力の全体構造（素案）

高等学校	A 表現	自分と美術（仮）	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	内容項目例
			知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
		社会と美術（仮）	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	内容項目例
			知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
			思考力、判断力、表現力等	対象や事象を自分との関わりの視点に立って深く見詰め、感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生成し、創造的に発想や構想をすることができる	（絵画・彫刻、映像メディア表現） - 自然や自己、生活などを見詰め感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成する - 表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練る
			知識及び技能	造形の要素の働きや全体のイメージ、美術の働きや美術文化について実感を伴って捉えながら、自分との関わりの視点から意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫し主題を追求して表すことにより、創造的に表現できることを理解している	（共通事項） - 形や色彩、材料や光などの性質やその効果などと、全体のイメージなどで捉えることを理解する - 美術の働きや美術文化について理解する - 材料や用具、映像メディア機器等の特性を生かす - 主題を追求し創造的に表すなどの技能に関する事項を身に付ける
			思考力、判断力、表現力等	対象や事象を社会的な視点に立って深く見詰め、目的や条件などを基に主題を生成し、創造的に発想や構想をすることができる	（デザイン、映像メディア表現） - 目的や条件、機能などを考え、主題を生成する - 創造的な表現の構想を練る
			知識及び技能	造形の要素の働きや全体のイメージ、美術の働きや美術文化について実感を伴って捉えながら、客観的な視点から自分の意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫し主題を追求して表すことにより、創造的に表現できることを理解している	（共通事項） - 形や色彩、材料や光などの性質やその効果などと、全体のイメージなどで捉えることを理解する - 美術の働きや美術文化について理解する - 材料や用具、映像メディア機器等の特性を生かす - 目的や計画を基に創造的に表すなどの技能に関する事項を身に付ける

資質・能力の全体構造（素案）

高等学校	自分と美術（仮）	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	内容項目例
			自分との関わりの視点に立って美術作品などを深く見つめ、造形的なよさや美しさなどを感じ取り、価値意識をもって作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる	（絵画・彫刻、映像メディア表現） ・ 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情、表現の意図と創造的な表現の工夫などを考えて、見方や感じ方を深める
		知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
			造形の要素の働きや全体のイメージ、美術の働きや美術文化について実感を伴って捉えながら、感じ取ったことや考えたことなどを基に表現された美術作品などの情報を幅広く読み取るにより、創造的に鑑賞できることを理解している	〔共通事項〕 ・ 形や色彩、材料や光などの性質やその効果などと、全体のイメージなどで捉えることを理解する ・ 美術の働きや美術文化について理解する ・ 視覚的な特徴などの情報を読み取る ・ 背景や文脈などを踏まえながら美術作品などの情報を読み取る
B 鑑賞	社会と美術（仮）	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	内容項目例
			社会的な視点に立って美術作品などを深く見つめ、目的や機能などの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、価値意識をもって作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる	（デザイン、映像メディア表現） ・ 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情、表現の意図と創造的な工夫などを考えて、見方や感じ方を深める
		知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
			造形の要素の働きや全体のイメージ、美術の働きや美術文化について実感を伴って捉えながら、目的や機能などを基に表現された美術作品などの情報を幅広く読み取るにより、創造的に鑑賞できることを理解している	〔共通事項〕 ・ 形や色彩、材料や光などの性質やその効果などと、全体のイメージなどで捉えることを理解する ・ 美術の働きや美術文化について理解する ・ 視覚的な特徴などの情報を読み取る ・ 背景などを踏まえながら美術作品などの情報を読み取る

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
高等学校	対象や事象を捉える造形的な視点や、工芸の働き、工芸の伝統と文化について幅広く理解するとともに、発想や構想したことを基に創造的に表すことや、工芸作品などの情報を幅広く読み取ることができるようにする	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫などについて考え、心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸作品などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする	主体的・協働的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、工芸によって心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

見方・考え方

- 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、造形的、文化的な視点で捉え、意味や価値をつくりだすこと

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
高等学校	対象や事象を捉える造形的な視点や、工芸の働き、工芸の伝統と文化について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことや、工芸作品などの情報を深く読み取ることができるようにする	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫などについて考え、思いや願いなどから個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて工芸に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする	主体的・協働的に工芸の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、工芸によって心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

見方・考え方

- 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、造形的、文化的な視点で捉え、意味や価値をつくりだすこと

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
高等学校	対象や事象を捉える造形的な視点や、工芸の働き、工芸の伝統と文化について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことや、工芸作品などの情報を精査しながら深く読み取ることができるようにする	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創意工夫などについて考え、思いや願いなどから個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて工芸に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする	主体的・協働的に工芸の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、工芸の伝統と文化を尊重し、工芸によって心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

見方・考え方

- 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、造形的、文化的な視点で捉え、意味や価値をつくりだすこと

資質・能力の全体構造（素案）

高等学校	A 表現	身近な生活と工芸	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	内容項目例
				対象や事象を身近な生活の視点に立って深く見つめ、自然や素材、自分の思いなどから心豊かに発想や構想をすることができる	（身近な生活の視点に立った発想や構想） ・ 自然や素材、自己の思いなどから、心豊かな発想をする ・ 制作の構想を練る
			知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
				造形の要素の働きや全体のイメージ、工芸の働きや工芸の伝統と文化について実感を伴って捉えながら、身近な生活の視点に立って、意図に応じて材料や用具を生かし、手順や技法などを吟味し表すことにより、創造的に表現できることを理解している	〔共通事項〕 ・ 形や色彩、素材や光などの性質やその効果などと、全体のイメージなどで捉えることを理解する ・ 工芸の働きや工芸の伝統と文化について理解する ・ 意図に応じて材料や用具を生かす ・ 手順や技法などを吟味し、創造的に表すなどの技能に関する事項を身に付ける
高等学校	A 表現	社会と工芸	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	内容項目例
				対象や事象を社会的な視点に立って深く見つめ、使う人や生活環境などから心豊かに発想や構想をすることができる	（社会的な視点に立った発想や構想） ・ 使う人の願いや心情、生活環境などから心豊かな発想をする ・ 制作の構想を練る
			知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
				造形の要素の働きや全体のイメージ、工芸の働きや工芸の伝統と文化について実感を伴って捉えながら、社会的な視点に立って、意図に応じて材料や用具を生かし、手順や技法などを吟味し表すことにより、創造的に表現できることを理解している	〔共通事項〕 ・ 形や色彩、素材や光などの性質やその効果などと、全体のイメージなどで捉えることを理解する ・ 工芸の働きや工芸の伝統と文化について理解する ・ 意図に応じて材料や用具を生かす ・ 手順や技法などを吟味し、創造的に表すなどの技能に関する事項を身に付ける

資質・能力の全体構造（素案）

高等学校	B鑑賞	身近な生活と工芸	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	内容項目例
				身近な生活の視点に立って工芸作品などを深く見つめ、よさや美しさを感じ取り、価値意識をもって作者の心情や意図と制作過程における工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる	（身近な生活の視点に立って考える鑑賞） ・ 工芸作品などのよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と制作過程における工夫や素材の生かし方、技法などについて考えて、見方や感じ方を深める
	B鑑賞	社会と工芸	知識及び技能	総合的な理解	内容項目例
				造形の要素の働きや全体のイメージ、工芸の働きや工芸の伝統と文化について実感を伴って捉えながら、身近な生活の視点に立って表現された工芸作品などの情報を幅広く読み取るにより、創造的に鑑賞できることを理解している	〔共通事項〕 ・ 形や色彩、素材や光などの性質やその効果などと、全体のイメージなどで捉えることを理解する ・ 工芸の働きや工芸の伝統と文化について理解する ・ 視覚的な特徴などの情報を読み取る ・ 背景などを踏まえながら工芸作品などの情報を読み取る
高等学校	B鑑賞	身近な生活と工芸	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	内容項目例
				社会的な視点に立って工芸作品などを深く見つめ、よさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と制作過程における工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる	（社会的な視点に立って考える鑑賞） ・ 工芸作品などのよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と制作過程における工夫や素材の生かし方、技法などについて考えて、見方や感じ方を深める
高等学校	B鑑賞	社会と工芸	知識及び技能	総合的な理解	内容項目例
				造形の要素の働きや全体のイメージ、工芸の働きや工芸の伝統と文化について実感を伴って捉えながら、社会的な視点に立って表現された工芸作品などの情報を幅広く読み取るにより、創造的に鑑賞できることを理解している	〔共通事項〕 ・ 形や色彩、素材や光などの性質やその効果などと、全体のイメージなどで捉えることを理解する ・ 工芸の働きや工芸の伝統と文化について理解する ・ 視覚的な特徴などの情報を読み取る ・ 背景などを踏まえながら工芸作品などの情報を読み取る

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
高等学校	書の表現の方法や形式、多様性、書の伝統と文化について幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、感興や意図を創造的に表したり、作品や書から美に関する情報を読み取ったりするための基礎的な技能を身に付けることができるようにする	作品や書の美と、その伝統と文化の意味や価値を考え、意図に基づいて創造的に構想し表現を工夫したり、価値意識をもって書のよさや美しさを味わい捉えたりすることができるようにする	主体的・協働的に書道の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書によって心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

見方・考え方

- 感性を働かせ、文字や書を、書の美を構成する要素とその働き、伝統と文化などの視点で捉え、意味や価値を追求すること

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
高等学校	書の表現の方法や形式、多様性、書の伝統と文化について理解を深めるとともに、感興や意図を創造的、個性的に表したり、作品や書から美に関する情報を読み取ったりするための技能を身に付けることができるようにする	作品や書の美と、その伝統と文化の意味や価値を考え、意図に基づいて創造的、個性的に構想し表現を工夫したり、価値意識をもって書のよさや美しさを深く味わい捉えたりすることができるようにする	主体的・協働的に書道の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性をさらに高め、書の伝統と文化を尊重し、書によって心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

見方・考え方

- 感性を働かせ、文字や書を、書の美を構成する要素とその働き、伝統と文化などの視点で捉え、意味や価値を追求すること

高等学校各科目の目標（素案）

目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
高等学校	書の表現の方法や形式、多様性、書の伝統と文化について理解を深めるとともに、感興や意図を創造的、個性的に表したり、作品や書から美に関する情報を読み取ったりするための技能を身に付けることができるようにする	作品や書の美と、その伝統と文化の意味や価値を考え、意図に基づいて創造的、個性的に構想し表現を工夫したり、価値意識をもって書のよさや美しさを深く味わい捉えたりすることができるようにする	主体的・協働的に書道の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書によって心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

見方・考え方

- 感性を働かせ、文字や書を、書の美を構成する要素とその働き、伝統と文化などの視点で捉え、意味や価値を追求すること

資質・能力の全体構造（素案）

高等学校	A 表現	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	内容項目例
			自分と社会、文字や書の歴史や文化等との関わりから、作品や書の美について深く考えながら、自らの意図に基づいて構想し、その実現のために表現を工夫することができる	<漢字仮名交じりの書> - 名筆を生かした表現や現代に生きる表現、自らの意図に基づく創造的、個性的な表現を構想し工夫する <漢字の書> - 漢字の書の伝統と文化に基づく表現、自らの意図に基づく創造的、個性的な表現を構想し工夫する <仮名の書> - 仮名の書の伝統と文化に基づく表現、自らの意図に基づく創造的、個性的な表現を構想し工夫する
高等学校	A 表現	知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
			作品や書の表現や書風における美の構造やその働き、書文化について実感を伴って捉えながら、意図に基づいて書の表現性、表現効果と関わる用筆・運筆などの要素を働かせて表すことにより、創造的、個性的に表現できることを理解している	[共通事項] - 書の表現性とその表現効果との関わりについて理解する - 書を構成する要素について、相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解する <漢字仮名交じりの書> - 漢字仮名交じりの書及びその美を構成する要素の働き、多様な表現について理解する - 意図に基づいて漢字仮名交じりの書を表す技能を身に付ける <漢字の書> - 漢字の書及びその美を構成する要素の働き、漢字の書の多様な書風について理解する - 意図に基づいて漢字の書を表す技能を身に付ける <仮名の書> - 仮名の書及びその美を構成する要素の働き、仮名の書の多様な書風について理解する - 意図に基づいて仮名の書を表す技能を身に付ける

資質・能力の全体構造（素案）

高等学校	B 鑑賞	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	内容項目例
			書かれた言葉、歴史的背景、生活や社会、諸文化等との関わりを通して、作品や書の美、その伝統と文化の意味や価値について深く考え、書のよさや美しさを味わうことができる	- 作品や書の価値とその根拠、書の美の意味や価値、書の普遍的価値について考える - 生活や社会における文字や書の働きや効用、書の美の働きや効用、現代における作品や書の意味や価値について考える
		知識及び技能	統合的な理解	内容項目例
			書の伝統と文化、書の美の多様性と関わらせて、書の美を捉える視点や方法について実感を伴って捉えながら、作品や書から情報を読み取ることにより、作品や書のよさや美しさを豊かに味わうことができることを理解している	〔共通事項〕 - 書の表現性とその表現効果との関わりについて理解する - 書を構成する要素について、相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解する - 書を鑑賞するための方法や多様な背景との関わりについて理解する - 作品や書から美に関する情報を読み取る技能を身に付ける